

医史学関係文献目録

(五十音順)

平成 17 (2005) 年

順天堂大学医史学研究室編

01 単行本	19 細菌学史	38 地方史	52 法医学史
02 医学切手・書画	20 産婦人科史	39 治療史	53 放射線医学史
03 医学教育	21 歯学史	40 伝記	54 本草学史・博物学史
04 医学用語	22 史跡・記念碑	41 伝記 (双)	55 麻醉学史
05 医師会・学会	23 疾病史	42 伝染病史・防疫史・感染 症史	56 門人録
06 医史学一般	24 耳鼻咽喉科史	43 東洋医学史・伝統医学史	57 薬学史
07 医の倫理	25 種痘史	44 内科史	58 蘭学史
08 医療器械	26 獣医学史	45 皮膚科史	59 リハビリテーション関係 史
09 医療制度史・医療史	27 書簡	46 泌尿器科史	60 検査
10 衛生・公衆衛生史・予防 医学史	28 書誌学	47 病院史	61 その他
11 解剖学史	29 小児科史	48 病跡学	62 中国語文献
12 眼科史	30 神経学史	49 病理学史	63 韓国語文献
13 看護史	31 診断学史	50 風俗史	64 欧文文献
14 寄生虫学史	32 整形外科史	51 仏教医学史	
15 教室・大学史	33 精神医学史		
16 軍陣医学史	34 生物学史		
17 形成外科学史	35 西洋医学史		
18 外科史	36 生化学史		
	37 生理学史		

今回は 14、19、34、36、50、56、63 にあたる文献はあり
ません。

01 単行本

安藤優一郎 『江戸の養生所』 PHP 研究所

大阪大学医学部第一内科開講 100 周年記念事業実行委員会

『大阪大学医学部第一内科開講 100 周年記念誌』

郭秀梅 『金匱要略私講』 中国北京学苑出版社

郭秀梅 『素問釈義』 中国北京学苑出版社

京都大学寄宿舎誌編集委員会 『京都帝國大學寄宿舎誌』 明治

編』 丸善京都出版サーベイスセンター

圭介文書研究会 (編) 『伊藤圭介日記集第十一集』 錦築翁日

記 (明治九年一月～七月)』

財団法人日中医学協会 『日中医学協会二十周年記念誌 JIC』

柳原悠紀田郎 『続歯記列伝』 クイソネット・センス出版株式会社

篠田達明 『徳川將軍家十五代のカルテ』 新潮社

末永恵子 『戦時医学の実態』 樹花舎

津田喬子編著 『女性医師からのメッセージ』 医系キャリア

アップの道しるべ』 真興交易 (株) 医書出版部

中村光夫 『神奈川の痘瘡神』

中村光夫 『牛痘啓蒙引札集』

中村光夫 『埼玉の痘瘡神』

中村光夫 『痘疹口訣 (五)』 面部観察之図』

名古屋大学医学部第一外科同心会 『名古屋大学医学部第一外

科のあゆみ』

吉元昭治 『日本神話伝説伝承地紀行』 勉誠出版

(180) 3-6

「沖繩甘藷伝来 400 年祭 野國總管と薩問真常」 池田征一郎

『STETHOSCOPE』 (182) 8-12

「日本赤十字創立者佐野常民の記念館を訪ねて」 池田征一郎

『STETHOSCOPE』 (179) 8-12

「英国文化協会の記念切手に描かれた医薬品の化学構造式」

伊藤良一、川邊紀雄 『STETHOSCOPE』 (180) 7-12

「切手・医学史をちこち 37 近藤博士の肖像画 (3)」 金山知

新 『医学のあゆみ』 212 (4) 265

「切手・医学史をちこち 38 スクリバ没後 100 年」 金山知新

『医学のあゆみ』 212 (9) 831

「切手・医学史をちこち 39 へボン生誕 190 年」 金山知新

『医学のあゆみ』 212 (13) 1121

「切手・医学史をちこち 40-41 明治村開村 40 年 (1-2)」 金

山知新 『医学のあゆみ』 213 (4, 9) 273, 826

「切手・医学史をちこち 42 岸田吟香没後 100 年」 金山知新

『医学のあゆみ』 213 (13) 1117

「切手・医学史をちこち 43 長井長義生誕 160 年」 金山知新

『医学のあゆみ』 214 (4) 261

「切手で医学散歩 <337>～<385> ヘルツとスクリバ (1) 他」

金山知新 『Medical Tribune』 38 (1-51, 52)

「パリのパンテオンとヴァル・ド・グラスについて」 河部康

男 『STETHOSCOPE』 (179) 3-7

02 医学切手・書画

「医学の郵便印を求めて (4)」 池田征一郎 『STETHOSCOPE』

- 「錦絵「麻疹禁忌荒増」酒井ソツ『CLINICIAN』(536) 2-5
 「増上寺五百羅漢図」中に描かれた江戸時代後期の足三里灸治療図(抄)」篠原昭二、和辻直、渡邊勝之、水沼国男、関真亮、斉藤宗則『全日本鍼灸学会雑誌』55(3) 435
 「宮崎謙吉と長与専齋の書幅」寺畑喜朔『北陸医史』26(1) 47-51
 「日本めまい平衡医学会と医学切手の展示」豊田守国『STETHOSCOPE』(181) 3-5
 「随想 中国の旅」中村實郎『STETHOSCOPE』(181) 6-7
 「白杖」山之内外一『STETHOSCOPE』(182) 3-7
- 03 医学教育**
- 「ソノボジウムⅡ 人をもみる医師を育てる—医学史・医哲学を現代の医学教育に生かす 医のこころを先人の足跡と社会に学ぶ(抄)」相川忠臣『日本医史学雑誌』51(2) 177-178
 「医学教育改革の原点 占領期の医学教育改革とインターン制度の導入(抄)」伊藤祥子『医学教育』36(Suppl.) 40
 「歴史の足跡 北海道医学教育史年表(7-10、完)」小竹英夫『北海道医報』(1036-1040) 24-25, 16-17, 12-13, 24-25, 28-29
 【歯科医師の生涯研修を考える】歯科における卒後研修の変遷」榊原悠紀田郎『日本歯科評論』(758) 145-152

- 「私立日本医学校設立者・山根正次の医学教育の失敗(抄)」殿崎正明、唐沢信安、岩崎一『日本医史学雑誌』51(2) 218-219
 「共慣義塾の研究序説(上)」中西淳朗『日本医事新報』(4256) 48-50
 「ソノボジウムⅡ 人をもみる医師を育てる—医学史・医哲学を現代の医学教育に生かす 医学教育の流れ(抄)」福島統『日本医史学雑誌』51(2) 175-176
 「新出の幕府医学館講書記録(上海図書館所蔵)(抄)」町泉寿郎、小曾戸洋、石野尚吾、花輪壽彦『日本東洋医学雑誌』56(別冊) 167
 「原病學各論 亞爾蔑聯斯の講義録(第23-26編)」松陰宏、近藤陽一、松陰崇、松陰金子『三重県立看護大学紀要』8, 13-24, 25-34, 35-47, 49-57
- 04 医学用語**
- 「感冒」疾患名の起源について(抄)」木村丹『日本医史学雑誌』51(2) 268-269
 「近代初期解剖学書における筋の名称について(抄)」澤井直『日本医史学雑誌』51(2) 294-295
 「発疹性感染症にみる病名の由来」深瀬泰旦『川崎市小児科医学会報』(36) 3-17

05 医師会・学会

- 「十五年戦争と日本民族衛生学会（協会）（その三）一学会名等をめぐる戦後の論争—（抄）」助昭三『日本医史学雑誌』51 (2) 274-275
- 「史的に見る薬学成立の経過と課題—日本薬史学会創立五十年に当たって（抄）」川瀬清『日本医史学雑誌』51 (1) 123-125
- 「薬学会の125年の歴史と将来（抄）」杉浦幸雄『日本薬学会125年会議演要旨集』(1) 31
- 「国際看護師協会 その歴史、組織、目標、活動範囲（第1回）」タカ・オギョ『看護』57 (11) 75-80
- 「幕末の医学教育を見つめた異国の人体—器物・文献資料総合データベースを用いて拓かれる研究の可能性—」月澤美代子『生物学史研究』(75) 17-23
- 「日本病院薬剤師会創立50周年 日本病院薬剤師会の歴史概説 胎動期、日病薬の誕生」日本病院薬剤師会五十年史編集委員会『日本病院薬剤師会雑誌』41 (2) 145-147
- 「日本病院薬剤師会創立50周年 日本病院薬剤師会の歴史概説 独立前夜」日本病院薬剤師会五十年史編集委員会『日本病院薬剤師会雑誌』41 (4) 383-389
- 「日本病院薬剤師会創立50周年 日本病院薬剤師会の歴史概説 成長期」日本病院薬剤師会五十年史編集委員会『日本病院薬剤師会雑誌』41 (5) 516-520
- 「日本病院薬剤師会の歴史 概説 安定期」日本病院薬剤師会五十年史編集委員会『日本病院薬剤師会雑誌』41 (7) 830-838
- 「日本病院薬剤師会の歴史 概説 医療事故多発」日本病院薬剤師会五十年史編集委員会『日本病院薬剤師会雑誌』41 (12) 1497-1510
- 「日本病院薬剤師会の歴史 概説 病棟業務への転進と日本病院薬学会の設立」日本病院薬剤師会五十年史編集委員会『日本病院薬剤師会雑誌』41 (8) 961-966
- 「日本病院薬剤師会の歴史 概説 激動期」日本病院薬剤師会五十年史編集委員会『日本病院薬剤師会雑誌』41 (10) 1219-1227
- 「日本中部眼科学会の歴史」眞鍋禮三『日本眼科紀要』56 (9) 655-661
- 「日本弱視斜視学会40年史」丸尾敏夫『眼科臨床医報』99 (2) 133-144
- 「京都医学会の創設」八木聖弥『医譚』(100) 46-53
- 「京都医学会の創設をめぐる—竹岡友仙「半百録」の記事から—（抄）」八木聖弥『医譚』(100) 72-73
- 「日本精神神経学会の歴史と課題」山内俊雄『精神神経学雑誌』107 (9) 947-955
- 「日本精神神経学会の歴史と課題（抄）」山内俊雄『精神神経学雑誌』(2005 特別) S192

「黎明期における日本歯科医学会史 日本歯科医学会沿革概要 (大正12年3月刊) より (抄)」山口秀紀、渋谷敏、谷津三雄『歯界展望』(特別2005) 312

06 医史学一般

「医学は出島から 先人の偉業に学ぶ」相川忠臣『日本検査血液学会雑誌』6(3) 420-427

「医学は出島から」先人の偉業に学ぶ(抄) 相川忠臣『日本検査血液学会雑誌』6(学術集会) S38

「雑誌「人性」を読む」荻昭三『北陸史』26(1) 52-60

「医史学における複言語主義のすすめ」泉彪之助『日本医史学雑誌』51(4) 627-640

「くすすり徒然草 はやり風邪」伊藤恭子『からだの科学』(24) 126-127

「ヒポクラテスの木：二〇〇五—文献、インターネットによる情報の収集 (抄)」稲松孝思『日本医史学雑誌』51(2) 310-311

「精神医療千一夜物語 心中(情死)の研究」大原健士郎『最新精神医学』10(5) 547-549

「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 96 糖尿病の歴史の中に輝く二人の女性」大森安恵『日医ニュース』(1043) 4

「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 95 日本の精神科医療百年」岡田靖雄『日医ニュース』(1042) 4

【「ストレスと運動適応」ストレス研究の歴史】尾仲達史『体育の科学』55(5) 348-352

「医療の今昔 日本の医学・医療 黎明期におけるドイツ医学の導入について (抄)」加我君孝『診断と治療』93(8) 1336-1337

「なせば明治新政府はドイツ医学を導入することになったのか(抄)」加我君孝『医学教育』36(Suppl) 13

「明治新政府はなせばドイツ医学を導入することにしたのか」加我君孝『耳鼻咽喉科・頭頸部外科』77(10) 738-740

「大江医家史料館の開館について (抄)」カトリケーナ・シバタ、川島真人『日本医史学雑誌』51(2) 306-307

「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 99-100 花柳病—性病—性感染症の百年の歴史(くその1-2)」熊本悦明『日医ニュース』(1046-1047) 4

『日本霊異記』の中の身体に関わる表現 (抄) 計良吉則『日本医史学雑誌』51(2) 262-263

「医学こぼれ話22 七草がゆ」酒井シヅ『きょうの健康』(202) 85

「医学こぼれ話23 節分」酒井シヅ『きょうの健康』(203) 63

「医学こぼれ話24 (最終回) ひな祭り」酒井シヅ『きょうの健康』(204) 99

「病院探検隊1 精神科と神経科はどう違うのですか プチうつで精神科を受診するのは大事すぎるのでは…。神経痛は

- 神経科に行けばいいの? ノイローゼは精神病なの?」酒井シヅ『カルナの豆知識』(3) 18-19
- 「病院探検隊2 乳がんは産婦人科が専門ではないの?」酒井シヅ『カルナの豆知識』(4) 20-21
- 「医療史回遊紀行 方士・徐福が熊野で採取した不老不死の霊薬」篠田達明『GPhnet』51 (11) 74-75
- 「医療史回り舞台 急速に来る死後硬直」篠田達明『整形・災害外科』48 (6) 760
- 「医療史回り舞台 戊辰戦争の軍医を務めた関寛齋」篠田達明『整形・災害外科』48 (7) 856
- 「医療史回り舞台 頼朝の長女に発症した小児のうつ病」篠田達明『整形・災害外科』48 (8) 954
- 「医療史回り舞台 鎌倉時代の絵巻に描かれた閃白のうつ病」篠田達明『整形・災害外科』48 (9) 1054
- 「医療史回り舞台 遣唐留学生 井真成の墓誌」篠田達明『整形・災害外科』48 (10) 1144
- 「医療史回り舞台 天才発明家 平賀源内の「アスベスト」」篠田達明『整形・災害外科』48 (11) 1334
- 「医療史回り舞台 神経症性障害に生涯悩まされたアンデルセン」篠田達明『整形・災害外科』48 (13) 1544
- 「万葉集の中の医学」白崎昭一郎『北陸医史』26 (1) 35
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 98 住民による健康増進活動の始まり」杉山章子『日医ニュース』(1045) 4
- 「震災医療の変遷と展望 関東大震災から新潟県中越地震までの旧軍・自衛隊の震災医療への関与(抄)」千先康二、向井保雄『日本救急医学会雑誌』16 (8) 329
- 「免疫学の創世記 サイトカイン研究の黎明」高津聖志『Medical Science Digest』31 (11) 418-419
- 「医学書にみる江戸期の健康意識」高橋裕次『大塚薬報』(605) 4-18
- 「シンポジウムⅠ「江戸のモノづくり」における医学史研究一拡充と越境 器物・文献資料総合データベースを用いた医学史研究の試み(抄)」月澤美代子『日本医史学雑誌』51 (2) 158-159
- 「医学史から学んだこと 胆道史を中心として(抄)」土屋涼一『胆道』19 (3) 235
- 「日本の開業医と家庭医の歴史」永井友二郎『人間の医学』40 (4) 348-650
- 「長寿・消化器・食の歴史探訪 明治・大正時代・昭和(1868~1945)」中澤三郎『老年消化器病』17 (1) 53-57
- 「原典でみる先駆者たち⑨ 微量の放射線は健康に有益!」中山宏明『ミクログロビア』22 (1) 44-46
- 「原典でみる先駆者たち 最終回 早すぎた先駆け:細胞性免疫研究の出発点」中山宏明『ミクログロビア』22 (2) 131-135
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 94 電磁気とそ

の治療応用」奈良圭之輔『日医ニュース』(1040) 4

「医史学関係資料の収集・保存・研究」ドキエムソナーショ
ン化の観点から事例に基づいて(抄)」野尻佳与子、青木
允夫『日本医史学雑誌』51(2) 308-309

「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 97」アトレナリ
ソの発見」藤田恒夫『日医ニュース』(1044) 4

「健康をめぐる歴史パノラマ 太古からの病の理解」真壁伍
郎『総合看護』40(1) 21-29

「医療の今昔 医療制度の変遷と現代に必要な改革について
(抄)」松田朗『診断と治療』93(8) 1337-1338

07 医の倫理

「医の心の歴史的観察と現代の課題(抄)」杉田暉道『神奈川
医学会雑誌』32(1) 91

「医の倫理の標語「医は仁術なり」について」関根透『日本
歯科医療管理学会雑誌』39(4) 339-343

「高良斉と日高涼台の用薬倫理をめぐる(抄)」中西淳朗
『神奈川医学会雑誌』32(1) 91

08 医療器械

「軟性内視鏡 50年間の個人的見解 (Flexible Endoscopy-a 50
Yr Personal Perspective) (英語)(抄)」Hirschowitz B.L.『日
本消化器内視鏡学会雑誌』47(臨増) 556

「明治初期の医科器械製造販売について—大阪を中心に—
(抄)」W・ミヒエル『医譯』(100) 76-77

「体温のバイオロジ—体温はなぜ37℃なのか」体温計の
歴史と発展 水銀体温計から電子体温計への挑戦」池田
誠、小澤仁『JISA』増刊体温計・バイオロジ—体温はなぜ37℃
なのか、162-168

「【麻酔器を理解しよう】麻酔器の歴史と発展 過去から未来
へ」市川勇『JISA』12(6) 504-506

「【麻酔器を理解しよう】麻酔器の歴史と発展 麻酔器の電子
化」大友康伸『JISA』12(9) 868-874

「【外科診療における材料・器具・装置のすべて】装置 手術
台」上寺祐之、谷田勝志、重松宏、三村芳和、大原信介、
大林俊彦、斎藤祐平、久保仁、玉井久義『外科』67(12)
1566-1575

「日本の消化器内視鏡の黎明期 殊に胃出血との関連で」川
井啓市『消化器内視鏡』17(1) 118-121

「内視鏡の歴史と心(抄)」酒井シヅ『日本消化器内視鏡学会
雑誌』47(臨増) 555

「ビッツ・バン 内視鏡の歴史に関する一考察 常岡健二先
生を偲んで」長廻敏『クリニシャン』52(3/4) 355-363

「透折関連機器の発達史」高光義博『腎臓』27(3) 143-148

「小腸内視鏡検査の歴史」多田正大、清水誠治、川井啓市『胃
と腸』40(11) 1463-1473

「人工呼吸器の進歩 (抄)」時岡宏明『人工呼吸』22 (2) 137
 【内視鏡の新しい展開 照明光の特性と内視鏡】赤外線内視鏡 赤外線内視鏡の歴史」永尾重昭、東山政明、又木紀和、松崎宏治、川口淳、丹羽寛文『臨床消化器内科』21 (1) 21-26

「最初の内視鏡 BozziniのLichtleiter (抄)」丹羽寛文『Gastroenterological Endoscopy』47 (Suppl. 2) 1763

「消化管内視鏡の発展を辿る その十五 十二指腸の内視鏡」丹羽寛文『ミクروسコピア』22 (2) 122-126

「消化管内視鏡の発展を辿る その十六 直腸鏡」丹羽寛文『ミクروسコピア』22 (3) 206-210

「消化管内視鏡の発展を辿る その十七 特殊な直腸鏡」丹羽寛文『ミクروسコピア』22 (4) 290-294

09 医療制度史・医療史

「ソノボジウム I 「江戸のモノづくり」における医史学研究 一 拡充と越境 明治期の医療器械商—大阪の白井松之助について (抄)」ヴァルンガソフ・ミヘル、遠藤次郎、中村輝子『日本医史学雑誌』51 (2) 162-163

「ソノボジウム I 「江戸のモノづくり」における医史学研究 一 拡充と越境 北條家 (佐渡市) の薬箱の検討 (抄)」遠藤次郎、中村輝子、ヴァルンガソフ・ミヘル『日本医史学雑誌』51 (2) 164-165

「ハンセン病および精神病の比較法制・処遇史 (抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』51 (2) 230-231

「石川日出鶴丸博士とGHQ旋風 占領下における「鍼灸禁止令」事件が後世に与えた影響 (抄)」奥津貴子『日本医史学雑誌』51 (2) 282-283

「来日医療宣教師 (Medical Missionary) のみた明治中期の日本医療—明治16 (1883) 年 “Proceedings of the Osaka Conference” から (抄)」小野尚香『医譚』(100) 77-78

【日本の医療のゆくえ】日本の医療と医療行政の歴史的推移」笠原英彦『教育と医学』53 (4) 296-303

「コレラ禍と内務省の広報活動 (抄)」笠原英彦『日本医史学雑誌』51 (2) 228-229

「戦前・戦中期における傷痍軍人援護政策に関する研究 職業保護対策の日韓比較」金蘭九『九州看護福祉大学紀要』7 (1) 45-57

「アメリカの医療制度とその現場 アメリカの医療経営教育の歴史から現在に至るまで」河野圭子『Modern Physician』25 (12) 1613-1622

「米国におけるハンセン病政策の変遷」佐藤元『日本ハンセン病学会雑誌』74 (1) 23-41

「戦後の医療改革とお産の変化 (抄)」杉山章子『母性衛生』46 (3) 29

「占領と戦後日本の医療」杉山章子『環』(22) 227-236

- 「近代日本における看護の資格と公的職業資格制度 (抄)」 滝下幸栄、岩脇陽子 『医譚』 (100) 67-69
- 「日本の母子健康手帳の普及に関する歴史学的記述研究 (抄)」 中村安秀 『日本小児科学会雑誌』 109 (2) 193
- 「明治一二年に東京府病院が実施した医師開業試験について (抄)」 樋口輝雄 『日本医史学雑誌』 51 (2) 210-211
- 「矯正給食から窺える庶民日常食の史的観察」 日野英子 『日本医史学雑誌』 51 (4) 661
- 「【医療の本質を捉える】医療の歴史的展望」 星和夫 『病院』 64 (1) 40-44
- 「実証は覚えていた (9)」 正木繁 『いずみ』 52 (1) 4-6
- 「実証は覚えていた (10) [完]」 正木繁 『いずみ』 52 (2) 24-25
- 「近代期の中国における平民教育運動—定県実験区における農民教育と衛生— (抄)」 三橋かほり 『日本医史学雑誌』 51 (2) 328-329
- 「ハンセン病政策と医学 (II) 絶対隔離政策の進展と確立」 森修一 『福島医学雑誌』 55 (1) 1-14
- 「昭和26年のBCG論争の医療的考察 (抄)」 渡部幹夫 『結核』 80 (3) 340
- 10 衛生史・公衆衛生史・予防医学史**
- 「【日本における保健医療社会学の歴史と展望】保健医療社会学事始 1960年前後を中心に」 姉崎正平 『保健医療社会学論集』 15 (2) 42-48
- 「医史資料 大正2年の狂犬病騒動」 伊東重光 『現代医学』 53 (2) 331-335
- 「【大気汚染と呼吸器疾患】わが国の大気汚染 過去、現在、未来」 内山巖雄 『呼吸器科』 8 (4) 279-286
- 「先進諸国の証の重要因子である乳児死亡率増加因子を循環器病学的、歴史的、統計学的に考察する (抄)」 佐藤邦友 『Circulation Journal』 69 (Suppl. III) 982
- 「占領期における北海道軍政部の公衆衛生改革 占領文書から見たモデル保健所の成立過程 (抄)」 佐藤公美子、坪井良子 『日本看護研究会雑誌』 28 (3) 152
- 「明治10年代におけるユレラ予防と地域社会」 竹原万雄 『日本歴史』 (681) 35-51
- 「衛生及び衛生学：近代日本の体育史を読み解くキーワード」 谷釜了生 『体育学研究』 50 (5) 525-532
- 「資料・植民地時代の東南アジア各地の医療保健制度 五—六、和蘭領印度における医療保健制度 (一) — (二)」 寺畑喜朗 『医譚』 (99-100) 12-20, 20-26
- 「オーストラリアにおける産業医学の発展の歴史 (Part 2) : 1970-2000 (The Historical Development of Occupational Health in Australia Part2: 1970-2000) (英語)」 デレック・スミス、ペーター・レガット 『産業医科大学雑誌』 27 (2)

- 137-150
 「産業医学いまむかし (25) 鉱山医学回顧」野村茂『労働の科学』60 (2) 96-97
 「産業医学いまむかし (26) 日本産業医学会の頃」野村茂『労働の科学』60 (3) 160-161
 「産業医学いまむかし (27) 産業皮膚科学のはじめ」野村茂『労働の科学』60 (4) 232-233
 「産業医学いまむかし (28) 関西の産業医学のこと」野村茂『労働の科学』60 (5) 284-285
 「産業医学いまむかし (29) 九州の産業医学いまむかし」野村茂『労働の科学』60 (6) 348-349
 「産業医学いまむかし (30) 日本の「職業がん」のこと」野村茂『労働の科学』60 (7) 418-419
 「産業医学いまむかし (31) 東海地方の産業医たち」野村茂『労働の科学』60 (8) 474-475
 「産業医学いまむかし (32) 産業医学の研究機関」野村茂『労働の科学』60 (9) 542-543
 「産業医学いまむかし (33) 限度から許容濃度等に」野村茂『労働の科学』60 (10) 24-25
 「産業医学いまむかし (34) 労災病院ができて」野村茂『労働の科学』60 (11) 30-31
 「産業医学いまむかし (35) VDT 作業者と健康と」野村茂『労働の科学』60 (12) 734-735
- 総論等
 53 巻
 3 号 (2007)
- 【安全衛生史の現場 足尾野民大会の「ヨロケ」撲滅の訴え】久谷興四郎『働く人の安全と健康』56 (1) 50-53
 【安全衛生史の現場 ニトログリコール中毒月曜日の朝のミスレリアスな死】久谷興四郎『働く人の安全と健康』56 (8) 45-49
 【エスノグラフィーの実践 医学・医療における医療人類学の可能性】「国際保健と医学史のトリロジー」疫学・医療人類学・政治経済学」丸井英二『ところと文化』4 (2) 118-124
 【エスノグラフィーの実践 医学・医療における医療人類学の可能性】「国際保健と医学史のトリロジー」へのコメント 国際保健における医療人類学の役割と課題」道信良子『ところと文化』4 (2) 125-127
 【暖房による室内空気汚染の変遷 研究所 100 年の歴史から】宮崎竹二『生活衛生』49 (6) 343-350
 【昭和二六年の結核予防法制定と BCG 論争 (抄)】渡部幹夫『日本医史学雑誌』51 (2) 286-287
 【昭和二十六年の BCG 論争 武見太郎と日本学術会議】渡部幹夫『日本医史学雑誌』51 (3) 445-446
- 11 解剖学史
 【解剖学表】(『解体新書』の原著、いわゆる「ターヘルツナー トミア」) 異版の研究—第二報 (抄)】石田純郎『日本医史

学雑誌』51(2)298-299

「小野豊三郎の解剖学ノート(抄)」浦山きか『日本医史学雑誌』51(2)216-217

「解剖新書の謎32 ターヘル・フナトミア翻訳」大城孟『大塚葉報』(602)67-72

「解剖新書の謎33-35 西洋社会との交流(前編、後編1-2)」大城孟『大塚葉報』(603-605)65-69,63-67,59-63

「解剖新書の謎36-40 良澤と玄白の葛藤(その1-5)」大城孟『大塚葉報』(606-610)65-69,63-67,61-65,61-65,61-65

「解剖新書の謎41 終回」大城孟『大塚葉報』(611)43-47

「身幹儀」(星野木骨)について(抄)片岡勝子、洲崎悦子、中谷宣弘『解剖学雑誌』80(1)20

「身幹儀」(星野木骨)の制作過程に関する研究(抄)片岡勝子『日本医史学雑誌』51(2)188-189

「Thomas WillisのCerebri Anatomeで用いられた神経解剖学的な観察法の迫体験(抄)」門田永治『日本医史学雑誌』51(2)296-297

「近代解剖制度史補遺—『明治四十四年九月 屍体ニ關スル記事 東京醫科大學解剖學教室』の分析から」香西豊子

『日本医史学雑誌』51(4)549-568

「宇田川玄真著「和蘭内景医範提綱」にみる解剖生理学(抄)」

佐藤裕『解剖学雑誌』80(2)57

「ラヴェンテイウスの解剖学書」澤井直、坂井建雄『日本医

史学雑誌』51(1)3-24

「解剖学者がみたミクランゾエロの彫刻 エリウス2世廟歴史の歯車」篠原治道『最新医学』60(5)1044-1050

「神経の歴史散策 その二 ガレノスの神経学」高垣玄吉郎『ミクランゾビア』22(1)35-39

「神経の歴史散策 その三 こころの脳室学」高垣玄吉郎『ミクランゾビア』22(2)113-119

「神経の歴史散策 その四 人体解剖の復活」高垣玄吉郎『ミクランゾビア』22(3)201-205

「神経の歴史散策 その五 ザエサリウスと「人体構造論」高垣玄吉郎『ミクランゾビア』22(4)281-286

「北海道古代人の脛骨ハリス線の出現頻度について(抄)」中

村宅雄、松村博文、乗安整而『解剖学雑誌』80(1)14

「耳鼻分館所蔵・医事文化資料について(II) 解剖絵巻・解剖書について」樋口誠太郎『千葉医学雑誌』81(6)309-314

12 眼科史

「眼疾患発症の外因と内因」大野重昭『日本眼科学会雑誌』109(12)885-916

「江戸期眼科秘伝書と眼科医」奥沢康正、園田真也『啓道』(23)21-76

「コンタクトレンズ博物館(その1)(その2)」木谷由紀夫

『日本コンパクト学会誌』47(2, 4) 152-153, 297-298

13 看護史

「看護実践の意味を求めて」池川清子『大阪市立大学看護学

雑誌』1, 3-10

『Encyclopedia Britannicaにおける nursing の記述について

過去100年間に出版された Britannica 語版の nursing 記述の

比較」江藤裕之、岸利江子『長野県看護大学紀要』7, 51-

59

「雑誌『保健婦事業』の実態 マリーラント大学ゾラング文

庫調査から(抄)」大石杉乃、平尾真智子、芳賀佐和子『日

本看護科学学会学術集會講演集』(25) 257

「「バージニア・オルソン物語」執筆で得たGHQ看護改革に

関する情報」大石杉乃『日本医史学雑誌』51(3) 448-449

「占領期の医療・看護に関する出版物の検閲(一) —ゾラ

ング文庫所蔵『看護学雑誌』について(抄)」大石杉乃、喜

多加奈子、平尾真智子、芳賀佐和子『日本医史学雑誌』51

(2) 284-285

「マリーラント大学『ゾラング文庫』と日本看護協会機関誌

『看護』発刊事情(抄)」大石杉乃、喜多加奈子、平尾真智

子、芳賀佐和子『日本看護歴史学会第19回学術集會講演

集』(19) 21

「近江療養院における結核患者の療養空間」小倉之子、上岡

澄子『日本看護歴史学会誌』(18) 69-76

「書簡 N.G. Clark から J.C. Berry へ 京都病婦学校設置に

至る Medical School と Medical College をめぐる論談(抄)」

小野尚香『医譚』(99) 47-48

【新たな視点から臨む訪問看護 海外でのケアを参考に】訪

問看護の歴史100年の国へ ミネソタ州とサンフランシス

コの訪問看護から学ぶこと」加藤基子『コミュニティケア』

(75) 19-21

「戦中・戦後の体験を語る 厚生省看護課長時代」金子光『日

本看護歴史学会誌』(18) 24-34

「さわか病院のPSWの歴史を振り返って(抄)」金子雅昭、鹿

島美和、中西宣嘉、吉井隆明『病院・地域精神医学』48(2)

212-213

「物に語らせる沖繩の看護の歴史(抄)」金城忍、嘉手刈英子、

名城一枝、安里葉子、上原綾子、川崎道子『日本看護科学

学会学術集會講演集』(25) 194

「修道女の看護」小玉香津子『聖母大学紀要』(創刊) 17-24

『看護の栞』(“Notes on Nursing” 初全訳書) 研究 「病氣」、

「看護」概念の考察」後藤啓子『日本看護歴史学会誌』(18)

77-80

「全人的医療への努力 歴史編一たとえば浜松十字の園」後

藤幸一『看護実践の科学』30(6) 93-95

「1970年代の教育を受けた看護師の過去の実習体験 看護専

門学校卒業生へのインタビューから (抄) 近藤誓子『日本看護学教育学会誌』15, 264

「古蹟期岡山県の看護改革に関する Military Government Reports の分析 病院看護の確立に焦点をあてた検討 (抄)」佐藤公美子、坪井良子『日本看護科学学会学術集会議演集』(25) 193

「明治期の精神病院に於ける看護婦養成について—府立果鴨病院の実態から」澤田恵子『日本医史学雑誌』51 (4) 661-662

「人間を守るための看護の戦略 実践の重要性 看護の歴史からの教訓」シオバン・ネルソン『看護実践の科学』30 (8) 50-53

「実例で学ぶ！ 手術室における看護記録の見直し 篠ノ井総合病院における外来看護記録見直しの歴史」清水久美子『看護きろく』15 (1) 75-79

「ハンセン病看護と看護倫理教育の歴史的考察 フトボカシーの視点から (抄)」白鳥孝子、吉澤千登勢『日本看護学教育学会誌』15, 88

「看護技術書における無菌操作の歴史的変遷 (抄)」末永由理、山下由香、屋宜譜美子『日本看護学教育学会誌』15, 85
「ナイチンゲール40歳の著述に見る「Nursing」という言葉の背景 [Notes on Nursing] と「Suggestions for Thought」(抄)」助川尚子、小澤道子、香春知永、横山美樹、佐居由

美『聖路加看護学会誌』9 (2) 57

「実例で学ぶ！ 手術室における看護記録の見直し 高根県立中央病院における手術室看護記録見直しの歴史」曾田美佐子、小池由季子、小田原みち江、三原かつ江、春日順子『看護きろく』15 (1) 61-67

「戦中・戦後の体験を語る マニラから東京看護教育模範学院まで」高橋シュン『日本看護歴史学会誌』(18) 16-24
「看護学教育における倫理教育の変遷」高橋みや子『日本看護学教育学会誌』14 (3) 39-45

「日本におけるクリティカルケア看護の歴史と現在」寺町優子『日本クリティカルケア看護学会誌』1 (1) 7-13

「看護師養成制度の発展過程 埼玉県の場合」
「看護婦規則」下の看護婦養成 (大正4年～昭和19年) 産婆看護婦学校の歴史的発展」仲島愛子『看護教育』46 (5) 418-422

「検証 看護師養成制度の発展過程 埼玉県の場合 看護婦養成開始期 (明治初期～大正3年) 医師たちによる産婆看護婦学校の開設」仲島愛子『看護教育』46 (4) 338-341

「検証 看護師養成制度の発展過程 埼玉県の場合 GHQ による看護教育制度改革 産婆看護婦学校と准看護婦養成所との関連」仲島愛子『看護教育』46 (6) 500-504

「埼玉県における看護婦養成の起源」仲島愛子『日本看護歴史学会誌』(18) 36-47
「マギー夫人来日」の記事にみられる高木兼寛の看護婦観

- 一明治三七年『成医会月報』より一(抄) 芳賀佐和子、平尾真智子、蝦名戀子『日本医史学雑誌』51(2)220-221
- 「看護歴史研究入門7 看護歴史関係学会」平尾真智子『看護実践の科学』30(1)77-79
- 「看護歴史研究入門8 看護歴史関係雑誌」平尾真智子『看護実践の科学』30(2)69-71
- 「看護歴史研究入門9 看護歴史資料館」平尾真智子『看護実践の科学』30(3)98-100
- 「看護歴史研究入門10 看護歴史関係文獻検索の方法」平尾真智子『看護実践の科学』30(4)98-100
- 「看護歴史研究入門11 看護歴史研究論文の書き方」平尾真智子『看護実践の科学』30(5)98-100
- 「看護歴史研究入門12 看護歴史研究論文を書くうえで留意事項」平尾真智子『看護実践の科学』30(6)98-100
- 「岩手県におけるGHQによる看護改革の実施過程」細越幸子『岩手県立大学看護学部紀要』7, 117-125
- 「アジアのフランシスコに見る看護の心 聖母大学の理念の源泉を求めて」水島洋子『聖母大学紀要』(創刊) 9-15
- 「体験としての看取り 歴史から学ぶ(抄)」三井宏泉、野田隆生『ホスピスケアと在宅ケア』13(2)193
- 「寝たきり患者の褥瘡ケア 100年前の褥瘡ケア」美濃農夫『整形外科看護』10(9)893-903
- 「近代日本における看護婦養成の変遷と現代への示唆 明治元(1868)年～終戦(1945)年」山根節子『看護学統合研究』7(1)48-59
- 「現代日本における「看護とその基礎教育」の変遷と課題 戦後60年 築き上げてきたものは何か(1)」山根節子『看護学統合研究』7(1)60-74
- 「歴史教材の教育力に関する研究 史料を通して学んだ地域看護学概論(抄)」山本春江『日本看護学教育学会誌』15, 87
- 「新生児看護の歩みと展望(抄)」横尾京子『日本新生児看護学会講演集』(15)24-25

15 教室・大学史

- 「【泰然の現代性と先進性 医、そして「仁」】順天堂の系譜 今、再び「仁」 古き歴史と日新の医学を踏まえて」小川秀典『順天堂医学』51(2)264-271
- 「旧満州医科大学の歴史 医学教育・医療活動・教育」末永恵子『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』5(2)29-41
- 「医学部紛争の現代的意義 卒後研修の視点から(3)」長田博昭『呼吸』24(3)272-275

16 軍陣医学史

- 「日中戦争1932-1945での生物学的及び化学的戦争 (Biological and Chemical Warfare During the Sino-Japanese War 1932-45)

(英語)」 Franzblau Michael 『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』 5 (2) 13-14

「白歯隊歯科医官 50年史と特にその黎明期について (抄)」

片山幸太郎 『歯界展望』 (特別 2005) 315

「旧日本軍 731部隊における私の体験」 篠塚良雄 『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』 5 (2) 15-20

「日中戦争と大牟田の「いわゆる爆発赤痢」」 新藤東洋男 『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』 5 (2) 9-12

「世界初の人を用いたラソダム化比較試験は七三一部隊によるか? (抄)」 津谷青一郎 『日本医史学雑誌』 51 (2) 278-279

「第二次大戦末期に起きた所謂九大生体解剖事件の歴史的教訓について」 東野利夫 『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』 5 (2) 1-8

17 形成外科学史

「形成手術及び再建手術の重要な歴史 (Making History of Plastic and Reconstructive Surgery) (英語)」 Sugihara Tsuneki 『Hokkaido University Medical Library Series』 49, 3-155

18 外科史

「近代血管外科の扉を開けたポルトガルの先駆者たち (Open the doors of modern vascular surgery portuguese pioneers)

(英語) (抄)」 da Gama A. Dimis 『日本外科学会雑誌』 106 (臨増) 25-26

「インドにおける脳神経外科の歴史 (History of Neurosurgery in India) (英語)」 Goel Atul H., Nadekarni Trimurti D. 『脳神経外科ジャーナル』 14 (2) 69-73

「カナダにおける胸部外科の歴史と発展 (History and development of thoracic surgery in Canada) (英語) (抄)」 Griffith Pearson F. 『日本呼吸器外科学会雑誌』 19 (3) 279

「肛門科診療の過去・現在・未来 (抄)」 荒川健二郎 『日本大腸肛門病学会雑誌』 58 (9) 474

「James Paget (1814-1899) と乳房」 酒井ソヅ 『Mamma』 (50) 表2

「乳房と放射線治療」 酒井ソヅ 『Mamma』 (51) 表2

「外科学温故知新 外科学の生い立ちとその進展」 佐藤裕 『臨床外科』 60 (9) 1153-1161

「外科学温故知新 わが国における外科学の進展」 佐藤裕 『臨床外科』 60 (10) 1309-1316

「格識順天堂医院手術傍観録 (抄)」 西井易穂 『日本医史学雑誌』 51 (2) 212-213

「消化器外科の過去・現在・未来」 羽生富士夫 『日本医事新報』 (4258) 39-42

「出土医書に見る「痔」の一考察 (抄)」 吉岡広記 『日本医史学雑誌』 51 (2) 250-251

20 産婦人科史

「助産婦の歴史 近代の助産婦 (その 227-238)」石原力 『ペリネイタルケア』 24 (1-12) 80-81, 192-193, 326-327, 420-421, 506-508, 610-612, 754-755, 822-824, 944-945, 1040-1041, 1138-1139, 1206-1207

「超音波診断と妊婦のころろ これからの妊婦診断のあり方を考える 日本における妊婦健診の変遷」鈴井江三子 『ペリネイタルケア』 24 (1) 73-77

「【周産期スクリーニングへの新しい考え方と進歩】産科におけるスクリーニングの歴史と成果」鈴木薫 『周産期医学』 35 (9) 1169-1173

「臍帯血移植の歴史と将来 (抄)」原 宏 『日本産婦人科・新生児血液学会誌』 15 (1) S5

「京都大学における子宮頸癌手術の歴史 (抄)」藤井信吾 『産婦人科手術』 (16) 136

21 歯学史

「口腔放射線医学的解釈 歴史的観点から (Oral Radiologic Interpretation: A Historical Perspective) (英語) (抄)」Pharaoh Michael 『歯科放射線』 45 (1) 34

「スボーツ歯科偉人伝 第3報 黒木正克先生」石川慎士、片山幸太郎、糸賀裕 『日本歯科歴史学会々誌』 26 (1) 29-54
「江戸から明治期における歯磨きのラベルと引札 (抄)」石橋

肇、渋谷敏、谷津三雄 『歯界展望』 (特別 2005) 314

「能勢邦士「国際歯科会議に関する血脈、中原両氏の仲介者としての私」(昭和6年5月)について (抄)」石橋肇、山口秀紀、加来洋子、渋谷敏、谷津三雄 『日本歯科歴史学会々誌』 26 (2) 105-106

「写真と書籍で追う諸外国の障害者歯科の足跡 (抄)」上原進 『日本歯科医療福祉学会雑誌』 10 (1) 27-28

「タイムカプセル 房楊枝、小楊枝の歴史 (上・下)」大野廣英 『日本歯科評論』 (753-754) 180-181, 194-195

「タイムカプセル 歯磨き粉の歴史 (上・下)」大野廣英 『日本歯科評論』 (755-756) 198-199, 190-191

「タイムカプセル 日本の伝統的な風俗 お歯黒 (下)」大野廣英 『日本歯科評論』 (758) 198-199

「歯内療法学の100年」勝海一郎 『日本歯科大学校友会・歯学会会報』 31 (1) 2-6

「100年の歴史 (第2回・保存修復) 保存修復の今と昔」加藤喜郎 『日本歯科大学校友会・歯学会会報』 31 (2) 2-7

「歯科医師としてのドラ ホリゾイ (抄)」金子謙 『日本歯科医学学会々誌』 26 (2) 92-93

「長崎の原爆投下時における歯科学生たち (抄)」上瀧口武 『日本歯科歴史学会々誌』 26 (2) 110

「古代日本の水稲作農耕民、弥生人の歯周病 (抄)」上窪高志 『九州歯科学会雑誌』 59 (5-6) 221-222

- 「千葉大学医学部歯科口腔外科並びに日本大学歯学部口腔外科の創設者 入戸野賢二先生とその著書について～佐藤運雄先生他主な関係者と著書「口腔外科学」について」工藤逸郎、三宅正彦、見崎徹、金山利吉、西山實、若松佳子、小室藏信、佐藤孜、丹沢秀樹『日本歯科医史学会誌』26 (1) 10-28
- 「日本大学歯科医学校とその第一回卒業生について (抄)」工藤逸郎、三宅正彦、見崎徹、金山利吉、西山實、若松佳子、小室藏信、佐藤孜、納村晋吉、篠田宏司『日本歯科医史学会誌』26 (2) 114
- 「入戸野賢二、佐藤運夫共著「口腔外科学」(大正9年初版)の変遷について (抄)」工藤逸郎、三宅正彦、見崎徹、西山實、小室藏信、丹沢秀樹、佐藤孜『歯界展望』(特別2005) 312
- 「金属焼付ポーセラセンの誕生から今日の臨床応用技術にいたるまで」桑田正博『歯科審美』17 (2) 227-233
- 「歯科医療保健史 (抄)」榎原悠紀田郎『神奈川医学会雑誌』32 (2) 263-264
- 「松籟・石塚三郎先生遺稿の漢詩～月刊「自治」に投稿した詩文～ (抄)」佐藤泰彦、佐藤禮『日本歯科医史学会誌』26 (2) 124-125
- 「大語園」における口腔に関する記述 (抄) 佐藤恭道、戸出一郎、深山治久『日本歯科医史学会誌』26 (2) 102
- 「昭和初期の学校歯科衛生 (抄)」渋谷谷、加来洋子、谷津三雄『歯界展望』(特別2005) 230
- 「文部省検定済の中等諸学校用・生理衛生教科書について (抄)」下総高次『日本歯科医史学会誌』26 (2) 111-112
- 「第二次大戦時下の「よく囀む運動」一よく囀んで囀みだせお米八百万石!」日本歯科評論』増刊号 昭和17年 (抄)」新藤恵久『日本歯科医史学会誌』26 (2) 109
- 「宮城県歯科医師会のおいたち一史料からみた考察一」杉本是孝、中山孝子『日本歯科医史学会誌』26 (2) 129-134
- 「テイクシュコンゾイシヨニソングの起源と歴史—米国補綴学会で認められたテイクシュコンゾイシヨニソング材の歴史について—」高木千訓『日本歯科医史学会誌』26 (2) 139-147
- 「口腔外科学に関する Dr. Med. Dent. 遠藤至六郎教授の名著について (抄)」高北義彦『日本歯科医史学会誌』26 (2) 90-91
- 「九州歯科大学の創設者 國永正臣のフメリカ時代」竹原直道『日本歯科医史学会誌』26 (1) 3-9
- 「有岡・伊丹郷町遺跡からほぼ完全な木製義歯三床発見される」多田羅猛『兵庫歯科学院雑誌』28 (1) 69-71
- 「歯科医学発祥地アラビア医学を検証する」千葉栄一『日本顎咬合学会誌』25 (1～2) 255-263
- 「歯科技工部における臨床技工内容の変遷 (第1報) 全部床義歯補綴の変遷 (抄)」土平和秀、松原恒、檀潤修一、夏

- 日寛文、牧繪陽、長谷川勇一、富田由香『日本歯科技工学会雑誌』26(2) 259
- 「口歯類要の背景(抄)」陶栗嫺、西卷明彦『歯界展望』(特別2005) 313
- 「傷寒論」と舌診の関係について(抄)」陶栗嫺、西卷明彦『日本歯科医史学会々誌』26(2) 97
- 「A. Gysiから中原市五郎に出された手紙について(抄)」永田和弘、新藤恵久『日本歯科医史学会々誌』26(2) 107-108
- 「W. Needlesの「最後臼歯で咬合する時作業側顎頭は作業しない」(1923)について(抄)」永田和弘、舟山郁子『日本歯科医史学会々誌』26(2) 100-101
- 「芭蕉の「軽み」と歯科病変(その3)(抄)」西卷明彦『日本歯科医史学会々誌』26(2) 117
- 「鴨外の都市美論(抄)」西卷明彦、陶栗嫺『日本歯科医史学会々誌』26(2) 119
- 「『傷寒金鏡録』の研究(抄)」西卷明彦、陶栗嫺、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』26(2) 96
- 「[他者]の視点でみる「病の草紙」(その4)(抄)」西卷明彦、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』26(2) 98
- 「『口歯類要』の治療範囲(抄)」西卷明彦『日本医史学雑誌』51(2) 316-317
- 「古代日本の水稲作農耕民、弥生人の齧蝕初発部位 (Location of Dental Primary Caries Cavity in Paddy Rice-cultivating Yayoi People of Ancient Japan) (英語) (抄)」原賀滋久『九州歯科学会雑誌』59(3) 125
- 「明治中期のお歯黒習俗について—和歌山県の歯科医中村好正述『明治25-26年) 来患者中涅歯者ノ統計報告』より(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』26(2) 113
- 「小幡英之助の受験願書と試験成績について—内閣文庫蔵『東京府史料・政治部衛生明治八年』より—(抄)」樋口輝雄、中原泉『日本歯科医史学会々誌』26(2) 126
- 「Charles Hunterの教科書“Mechanical Dentistry”について(抄)」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』26(2) 99
- 「古事記に現われた市辺忍歯王の物語 押歯による個人識別の一例」藤田浄秀、筑丸寛『横浜医学』56(3) 219-224
- 「江戸時代の古人骨にみられた犬歯の対称的埋伏 (Symmetrically Impacted Canines Found in Human Skeletal Remains from the Edo Period in Japan) (英語)」Fujita Hisashi『Journal of Oral Biosciences』47(2) 168-170
- 「歯の人類学 古人骨にみる歯の形態異常 (II)」藤田尚『老年歯科医学』20(2) 150-153
- 「フイラデルフィア時代のボクトルー井正典について(抄)」松本晉一、渋谷敦『日本歯科医史学会々誌』26(2) 115
- 「Philadelphia Dental College 卒業の中村正彦について(抄)」松本晉一、渋谷敦『日本歯科医史学会々誌』26(2) 116
- 「幕末、明治期の英字新聞とDirectoryからみた外国人歯科医

師の日本における動向について 2 H.H. Winn, J.R. Lysnar, J.S. Buringham] 松本康博『日本歯科医学會々誌』26 (2) 135-138

「高山紀斎の生涯 (その1. 神戸事件) (抄)」水川秀海『日本歯科医学會々誌』26 (2) 127-128

「ヒトの進化と歯科医学とその文化性」都温彦『九州歯科学会雑誌』59 (1) 1-13

「1832年ジェームズ・スネル著『歯科手術の実際』の誌学的研究 (抄)」森山徳長『日本歯科医学會々誌』26 (2) 120-121

「明治中・後期日本における歯科麻酔の誌学的研究 (抄)」森山徳長、一戸達也、金子譲『日本歯科医学會々誌』26 (2) 122-123

「ケリカーの組織分類とエナメル質 (抄)」屋代正幸、西巻明彦、陶栗嫻『歯界展望』(特別2005) 313

「血脇守之助「次回国際歯科医学会議を日本に開催せんとする希望に対する意見書」(昭和6年2月)について (抄)」山口秀紀、石橋肇、加來洋子、渋谷敏、谷津三雄『日本歯科医学會々誌』26 (2) 103-104

「新町・於菟稻荷神社 (おきくいなりじんじや) に奉納された「歯科医の絵馬」について (抄)」湯浅高行、藤野瑠男、屋代正幸『日本歯科医学會々誌』26 (2) 118

「文献からみた歯磨剤の香味 (第一報) 粉歯磨剤の香味につ

いて (抄)」吉村正紀、五味哲夫、鈴木誠司、渡邊洋二『歯界展望』(特別2005) 311

22 史跡・記念碑

「地中海における古代医学に関する遺跡 アスクレーピオス信仰とヒポクラテース」池田黎太郎『順天堂医学』51 (2) 104-113

「鬼平梅安にしひがし 本所の弥勒寺」中西淳朗『月刊保国連』(876) 58-59

「鬼平梅安にしひがし 寄場と天神」中西淳朗『月刊保国連』(879) 64-65

「鉛中毒の歴史に関する研究 (4) 平井毓太郎教授記念碑「平井乃梅」とその行方 (抄)」堀口俊一、西尾久英、林千代『産業衛生学雑誌』47 (増刊) 534

「大阪医薬史跡を訪ねて 適塾と緒方洪庵」米田該典『漢方研究』(402) 30-33

「大阪医薬史跡を訪ねて 神農さんと道修町」米田該典、鈴木五郎『漢方研究』(400) 20-22

「大阪医薬史跡を訪ねて 華岡青洲と華岡鹿城」米田該典、鈴木五郎『漢方研究』(403) 28-32

「大阪医薬史跡を訪ねて 夕陽丘町に眠る名医達 (1-2)」米田該典、鈴木五郎『漢方研究』(407-408) 443-448, 471-476

- 「糖尿病の歴史 インスリン感受性と Himsworth」 葛谷健『Q&A でわかる 肥満と糖尿病』4 (6) 1112-1116
- 「呼吸器感染症 その軌跡をふり返って」 小林宏行『日本化学療法学会雑誌』53 (10) 603-618
- 【ネフローゼ症候群のすべて】 基礎 ネフローゼ症候群の歴史 概念と変遷とわが国の初期の臨床研究」 酒井紀『腎と透析』59 (増刊) 10-14
- 「顎関節症を再考する 顎関節症の50年 (抄)」 柴田考典『日本全身咬合学会学術大会 15回プログラム・抄録集』23
- 「結核 温故知新 (抄)」 島尾忠男『結核』80 (3) 177
- 「腎臓病学の変遷と進歩」 杉崎徹三『昭和医学会雑誌』65 (3) 205-223
- 「骨考古学 麻痺性疾患 (2)」 鈴木隆雄『THE BONE』19 (3) 331-335
- 「アスペルガー症候群 歴史的背景と疾患概念」 田中順子『日本小児科医学会会報』(30) 141-144
- 「筋萎縮性側索硬化症の自律神経機能異常 歴史的 background」 田村直俊『自律神経』42 (2) 51-54
- 【「移植免疫と腫瘍免疫 泌尿器科医に必要な免疫の知識」 移植免疫の歴史と現状」 富田幸裕、梶原隆『Urology View』3 (3) 16-21
- 「小児気管支喘息の施設療法の歴史的変遷」 豊島協一郎『喘息』18 (4) 65-68
- 【「骨粗鬆症腫瘍内科 最新の診断と治療」 骨粗鬆症の診断 骨粗鬆症の概念：歴史の変遷を含めて」 乗松尋道『Modern Physician』25 (11) 1346-1348
- 【Archibald Garrod のパラダイム—先代代謝異常症の歴史」 深瀬泰旦『日本先代代謝異常学会雑誌』21, 80-91
- 「アーチボルド・ガロッドのパラダイム—先代代謝異常症の歴史」 深瀬泰旦『日本医史学雑誌』51 (3) 446-448
- 【「胃癌の時代的変遷と将来展望」 胃癌の時代的変遷 診断の立場から」 洲上忠彦『胃と腸』40 (1) 11-17
- 【「移植免疫と腫瘍免疫 泌尿器科医に必要な免疫の知識」 腫瘍免疫の歴史と現状」 細川眞澄男『Urology View』3 (3) 29-34
- 【「睡眠障害の基礎と臨床 UPDATE」 ナルコレプシー 研究の歴史と現状、その臨床応用」 本多真『医学のあゆみ』215 (3) 180-184
- 「原著を採る 重症筋無力症における最初の胸腺摘出術」 正岡昭『Clinical Neuroscience』23 (12) 1450-1451
- 「パーキンソン病の原因を追って」 水野美邦『日本内科学会雑誌』94 (Suppl.) 66-70
- 「九州と沖縄における乳癌の臨床試験の歴史 (History of Clinical Trials for Breast Cancer in Kyushu and Okinawa) (英語)」 Mitsuyama Shoshu『Breast Cancer』12 (1) 4-10
- 「睡眠と呼吸の生理学 睡眠時呼吸障害を理解する 睡眠時

無呼吸症候群の歴史 (1836年から1976年まで、そして

2003年)」安間文彦『呼吸器ケア』3(2)123-126

「【性同一性障害の診かたと治療】性同一性障害とは 歴史と概要」山内俊雄『Modern Physician』25(4)363-369

「EBウイルス感染症今昔物語」脇口宏『小児科臨床』58(11)2151-2158

24 耳鼻咽喉科史

「耳介の挿話—The Strand Magazine—」飯沼壽孝『JOHNS』

21(9)1416-1418

「古典あれこれ 声と心臓—Ortnerの呪縛—」廣瀬肇『JOHNS』

21(2)248-251

「古典あれこれ 本邦喉摘第1例」廣瀬肇『JOHNS』21(1)

114-117

25 種痘史

「釜山の済生医院 釜山開港 (1876年) 後の病院の近代化と

朝鮮の種痘」石田純郎『新見公立短期大学紀要』26, 39-42

「大坂の除痘館から分苗を受けた医師達 分苗所追跡調査

(2) (抄)」古西義磨『医譚』(99) 42-43

「『善那余話』からみたジェンナー画像収集の経緯 (抄)」深

瀬泰旦『日本医学雑誌』51(2) 246-247

「幕末期地方種痘に関する新資料」米田美『公立甲賀病院紀

要』8, 209-210

26 獣医学史

「獣医用刺絡 (瀉血) 用具とその変遷」折坂金弘『獣医畜産新報』58(5) 377-381

「獣医用焼烙用具の変遷と治療補助用具」折坂金弘『獣医畜産新報』58(12) 1041-1046

「Human Animal Bond (人と動物との絆) という New Science の歩み」加藤元『日本獣医学雑誌』(42) 22-42

「獣医史小話 戦後台湾の農業行政と獣医学教育」古泉巖、辻銘城、王俊秀、林再春『獣医畜産新報』58(8) 632

「獣医史小話 忠犬の歴史 国の史跡になった愛犬ハナ丸の墓」小佐々学『獣医畜産新報』58(11) 892

「獣医の雑誌—巻一—号補遺・陸軍獣醫團報」白水完児『日本獣医学雑誌』(42) 74-75

「絵巻物に見る中世獣医史料 (10)」中井薫『日本獣医学雑誌』(42) 66-71

「正岡子規が詠んだ馬医者 of 句」長尾壮七『日本獣医学雑誌』(42) 72-73

「今村源右衛門英生が完訳した我が国で初めての西欧獣医学とその訳業」濱 學『日本獣医学雑誌』(42) 49-54

「昭和期以降の馬の疾病とその防遏」濱 學『Hippologie』(19) 14-29

「日本在来馬「野間馬」の保護された歴史的背景」平野巧『日本獣医学雑誌』(42) 55-65

「最近の動物医療 小動物歯科診療の歴史ならびに現状と展望 (I-II)」藤田桂一『日本獣医師会雑誌』58 (4-5) 224-226, 298-300

「日本馬病史—古代より幕末・維新前後まで—」松尾信一『日本獣医学雑誌』(42) 1-21

「安西流馬医伝書(安西流馬医絵巻) 寛正五年(一四六四)の補遺(抄)」松尾信一『日本獣医学雑誌』51 (2) 270-271

「獣医史小話 日本の古い馬の解剖図」松尾信一『獣医畜産新報』58 (1) 14

「二十世紀台湾の畜産獣医事情 (1)」林本欽、大橋義光『日本獣医学雑誌』(42) 43-48

27 書簡

「池田文書の研究(二十六) 入澤達吉の書簡」池田文書研究会『日本獣医学雑誌』51 (1) 111-119

「池田文書の研究(二十七) 入澤達吉の書簡」池田文書研究会『日本獣医学雑誌』51 (3) 431-439

「池田文書の研究(二十八) 竹山屯の書簡」池田文書研究会『日本獣医学雑誌』51 (4) 645-654

「軍医小池正直の書簡—人骨を取る写真器械—」高橋陽一、上野秀治『啓迪』(23) 1-7

「宗教改革者カルヴァンが病苦を訴えた晩年の一書簡」濱中淑彦『名古屋医報』(1287) 26

「小石家宛坪井信良書簡五通について」正橋剛二『北陸医史』26 (1) 36-46

28 書誌学

「金沢大学医学部に寄贈された憶松閣文庫について」赤祖父一知、今井美和『北陸医史』26 (1) 61-67

「長沙走馬楼三国呉簡・竹簡」と『傷寒論』(抄) 猪飼祥夫『日本獣医学雑誌』51 (2) 312-313

「山形県天童市格知学舎の古医書(抄)」井上和夫『日本東洋医学雑誌』56 (別冊) 166

「『衆方規矩』の研究」遠藤次郎、中村輝子『日本東洋医学雑誌』56 (3) 435-444

「古写本鍼灸秘書 全 解題及び翻訳」亀節子、前田えい子、戸田静男『関西鍼灸大学紀要』2, 1-12

「中国宋元明の医薬書の研究とその成果の公刊」小曾戸洋『上原記念生命科学財団研究報告集』19, 68-74

「石原保秀・東亜医学協会旧蔵古医書(日漢研本)の概要(抄)」小曾戸洋、天野陽介、野澤隆幸、小林健二『日本医学雑誌』51 (1) 120-122

「ソノボジウム I 「江戸のモノづくり」における医史学研究—拡充と越境 曲直瀬義安院文書の研究(二)—」文書の概

要(上)〔抄〕小曾戸洋、友部和弘、町泉寿郎『日本医史学雑誌』51(2) 171-172

「大同医式」について(二)〔抄〕後藤志朗『日本医史学雑誌』51(2) 264-265

「甲賀通元「古今方集」の検討〔抄〕鈴木達彦、遠藤次郎、中村輝子『日本医史学雑誌』51(2) 318-319

「医学天正記」について(六)「高島文一『医譚』(23) 8-13」
「漫遊雜記」について その二、三「高島文一『医譚』(99-100) 21-22, 9-10

「元禄時代の百科全書「錦囊智術全書」〔抄〕高橋雅夫『医譚』(100) 70-72

「北里研究所東洋医学総合研究所蔵多紀元堅書き込み入り『医譚』について〔抄〕館野正美『日本医史学雑誌』51(2) 194-195

「収蔵オランダ外科図とパレ本1627年版との比較〔抄〕田中祐尾『医譚』(99) 45-46

「収蔵檜林外科書とパレ(一六二七)及びスクレタス(一六五七)との絵図における比較〔抄〕田中祐尾『日本医史学雑誌』51(2) 180-181

「シノボジウム I 「江戸のモノづくり」における医史学研究
一 補充と越境 曲直瀬養安院文書の研究(三)一文書の概要(下)〔抄〕友部和弘、町泉寿郎、小曾戸洋『日本医史学雑誌』51(2) 173-174

「西忍医術と「藪明集」」中泉弘、斎藤仁男『臨床眼科』59(1) 102-103

「文庫の窓から 古写本『諸病治方書』(仮)の眼目門」中泉行弘、斎藤仁男『臨床眼科』59(2) 220-221

「文庫の窓から 済民記」中泉行弘、斎藤仁男『臨床眼科』59(3) 378-379

「医羅羅合」と「妙薬博物笈」との比較」中泉行弘、斎藤仁男『臨床眼科』59(12) 1918-1920

「民国初期に於ける『靈救識』の影響〔抄〕平根弘治、桑名一史、関口麻紀、熊谷由紀絵、長崎直美、関口由紀、小菅孝明、高岡直子、宮原桂、寺師頌甫『日本東洋医学雑誌』56(別冊) 164

「手塚良斎「医学所御用留」(六)」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』51(4) 655-659

「シノボジウム I 「江戸のモノづくり」における医史学研究
一 補充と越境 曲直瀬養安院文書の研究(一)一家系と肖像〔抄〕町泉寿郎、小曾戸洋、花輪壽彦『日本医史学雑誌』51(2) 169-170

「「乳巖治験録」をだれが書いたか〔抄〕松木明知『日本医史学雑誌』51(2) 190-191

「韓国現存古医籍の特徴〔抄〕真柳誠『日本医史学雑誌』51(2) 326-327

「重要文化財に指定された塾所蔵の貴重書『解剖存真図』

安田健次郎『慶應医学』82 (3) 109-118

「病草紙に対する考察(抄)」湯浅高行『歯界展望』(特別2005) 314

29 小児科史

「新生児医療からみたSIDS 乳児突然死症候群(SIDS)の定義の進展、及びサンゾグイエゴSIDS/SUDC研究プロジェクトにおける498症例への2004 ver.の適用(The Evolution of the Definition of Sudden Infant Death Syndrome (SIDS) and Application of the 2004 Version to 498 Cases in the San Diego SIDS/SUDC Research Project)(英語)(抄)」Krous Henry F.『日本未熟児新生児学会雑誌』17 (3) 382

「小児外科医の散歩道 42年前の患者 歴史のなかの胆道手術」梶本照穂『小児外科』37 (3) 352-353

「恐ろしい風疹、先天性風疹症候群」日本における風疹、先天性風疹症候群の歴史と現況」加藤茂孝『チャイルドヘルス』8 (9) 632-636

「【恐ろしい風疹、先天性風疹症候群】わが国における風疹予防接種の歴史と今後」多屋馨子『チャイルドヘルス』8 (9) 643-648

「Pallot四徴と二乃至三の古典的雑誌とPediatric Cardiology」辻教敏『ほすびたるらいぶらりあん』30 (3~4) 240-242

「血液循環の発見から先天性心疾患へ」原田研介『日本小児

科学会雑誌』109 (9) 1096-1101

「【子どものトラウマ】子どもの外傷後ストレス障害(PTSD)その歴史と概念の変遷」廣常秀人、補永栄子、斉藤陽子、小川朝生、大澤智子、小笠原将之、加藤寛、井上洋一、武田雅俊『トラウマケア・ストリス』3 (2) 129-140

30 神経学史

「オリジナルな業績の原点をたずねて 新しい疾患概念・治療法の発見の経緯とその後の展開 大田原症候群 歴史的展望と病態の概要」大田原俊輔『小児科臨床』58 (5) 917-922

「Wilhelm GriesingerとDuchenne型筋ジストロフィー」古川哲雄『神経内科』63 (2) 197-202

「断頭直後の人体実験」古川哲雄『神経内科』63 (5) 494

「【精神医学と神経学との再統合 新しい神経精神医学の流れ】ハイデルベルグ学派の歴史と現在」和田信『臨床精神医学』34 (3) 307-314

31 診断学史

「【周産期スクリーニングへの新しい考え方と進歩】マンスクリーニングの歴史と成果」黒田泰弘『周産期医学』35 (9) 1175-1178

「【心電図との上手なつきあい方】おもしろ心電図の歴史と活

用法」佐藤純一『看護実践の科学』30(7)20-27

「アレルゲン研究の歴史(1)」信太隆夫『喘息』18(4)69-71

「原著を採る 打診ハンマーと反射ハンマー」高橋昭『Clinical Neuroscience』23(2)234-237

「コロコロ音の発生理論(抄)」藤倉一郎『日本医史学雑誌』51(2)304-305

32 整形外科学史

「武道整体医法 骨格矯正療法の歴史、理念、科学と技術」
S・パリッジュ『手技療法』13(4-12)285-287, 360-362,
436-441, 516-520, 598-600, 678-680, 766-769, 848-851, 920-
924

「日本人に適したセメント人工股関節の開発と歴史(抄)」飯
田寛和、川那辺圭一、中村孝志、和田孝彦、松矢浩暉『日
本整形外科学会雑誌』79(3)S218

「弥生人の骨は語る 古代人の健康状態と病い(抄)」井上貴
史『中部日本整形外科学会雑誌』48(Suppl. 1)3

「日本人に適したセメント人工股関節の開発と歴史
(抄)」大谷卓也、藤井克之『日本整形外科学会雑誌』79(3)

S218

「柔道整復師の歴史から学ぶもの(抄)」我部正彦『柔道整
復・接骨医学』13(3)174

「柔道整復師の歴史から学ぶもの 柔道整復師の誕生と武医

同術」我部正彦『柔道整復・接骨医学』13(3)177-178

「整形外科の歴史 91 19世紀後期から20世紀中期へ—ス
ロヴァチア諸国の整形外科の近代化—(5) フィンランド、
エストニア、アイスランドの整形外科の近代化」浦原宏
『整形外科看護』10(1)100-103

「整形外科の歴史 92-94 19世紀後期から20世紀中期へ—東
欧諸国の整形外科の近代化—(1-3) チェコスロバキアの
整形外科の近代化」浦原宏『整形外科看護』10(2-4)200-
203, 314-317, 414-416

「整形外科の歴史 95 19世紀後期から20世紀中期へ—東欧
諸国の整形外科の近代化—(4) ルーマニア、ブルガリア
の整形外科の近代化」浦原宏『整形外科看護』10(5)514-
516

「整形外科の歴史 96 19世紀後期から20世紀中期へ—東欧
諸国の整形外科の近代化—(5) ハンガリー、ポーランド、
旧ユーゴスラビアの整形外科の近代化」浦原宏『整形外科
看護』10(6)598-602

「整形外科の歴史 97-99 19世紀後期から20世紀中期へ—ロ
シアの整形外科の近代化①-③—」浦原宏『整形外科看護』
10(7-9)696-699, 796-799, 886-891

「整形外科の歴史 100-102 19世紀後期から20世紀中期へ
—伊太利の整形外科の近代化①-③—」浦原宏『整形外科
看護』10(10-12)976-979, 1076-1082, 1170-1173

【義肢の変遷】義足ソケットの変遷 切斷術・材料・社会情

勢との関わり」久保義博、白井範幸、長谷川絵理、村瀬仁美、出井裕司『POアカデミージャーナル』13(2)70-88

「内視鏡下手術の現況と合併症対策 整形外科領域における内視鏡手術 歴史と現況(抄)」斎藤明義『日大医学雑誌』64(4)217-220

「考古学 先天異常(四肢骨)」鈴木隆雄『THE BONE』19(1)109-112

「私の経験を通じた日本の肩関節外科の歴史と将来への展望」高岸直人『肩関節』29(3)475-478

「柔道整復師の歴史から学ぶもの 昭和45年柔道整復師法成立以後(抄)」高島禮子『柔道整復・接骨医学』13(3)180

【義肢の変遷】わが国の四肢切断者の歩みと社会的自立の変遷」坪井良子『POアカデミージャーナル』13(2)47-56

「柔道整復師の歴史から学ぶもの 柔道整復師法成立に至る道(抄)」中川敏郎『柔道整復・接骨医学』13(3)179

「外科系各領域の展望 整形外科百年 歴史と今後の展望」中村耕三『日本外科系連合学会誌』30(特別)S159-160

「柔道整復師の歴史から学ぶもの 明治の医制と接骨・整骨のゆくえ」横田良介『柔道整復・接骨医学』13(3)175-176

33 精神医学史

「フランス人精神科医の森田療法発見事情」Garrabe Jean 『日

本森田療法学会雑誌』16(2)195-200

「フランスと日本における神経症の歴史の変遷 (HISTORIQUE DES NEVROSES EN FRANCE ET AU JAPAN) (フランス語)(抄)」Garrabe Jean 『日仏医学』29(1)9

【精神医学と神経学との再統合 新しい神経精神医学の流れ】Die Berliner Schulu (ベルリン学派)」池村義明『臨床精神医学』34(3)283-293

「江戸時代後期の精神障害者処遇「留預」について(抄)」板原和子、桑原治雄『精神医学史研究』9(1)60-61

【統合失調症の精神療法】統合失調症における個人精神療法序論」牛島定信『精神療法』31(1)3-8

【統合失調症】「統合失調症の精神病理学」への考古学的序説」内海健『こころの科学』(120)55-65

「精神科治療理念の史的展望 精神療法とその治療理念のク

ロロロジー」江口重幸『精神医学史研究』9(1)34-42

「統合失調症の通時性に関する検討 既出文献の再考と「奇

異さ」の概念への注目(抄)」大塚耕太郎、酒井明夫、丸田真樹、高谷友希、奥山雄、遠藤知方、中山秀紀、武内克也『精神医学史研究』9(1)59-60

「精神科病院におけるデンゾク熱実験 戦争と精神科医療、そして戦争医学者(その4)(抄)」岡田靖雄『精神医学史研究』9(1)58-59

「戦争と心理学 軍隊と医療 戦争神経症を中心に」奥村直

史『臨床心理学研究』42(3):50-53

「江戸時代の古文書にみる精神障害者」金川英雄『精神医学研究所業績集』(41)47-53

【日韓両国の若い精神科医のための合同研修会からみた両国の文化】森田療法と韓国の精神文化」黒木俊秀『こころと文化』4(1):20-25

「江戸後期裁判事例での「乱心」の意味ある症状の記述(抄)」桑原治雄、板原和子『精神医学史研究』9(1):60

「Joseph Guislain による精神医学用語とその疾病分類について(抄)」小泉明『精神医学史研究』9(1):59

「地方紙における自殺報道の変遷 明治における精神科医療の構造化について(1)(抄)」河野康政、矢根秀憲、生村吾郎、今村洋一郎『病院・地域精神医学』48(2):220-222

「Kraepelin のマラソニーについて(抄)」古茶大樹、濱田秀伯『精神医学史研究』9(1):56

「精神科治療理念の史的展望「ヒポクラテス集成」における狂気治療について」酒井明夫『精神医学史研究』9(1):28-

33

「パトゾラフイ 精神医学史探訪 誇り高きアミアス」酒井明夫『精神科』6(5):493-497

「パトゾラフイ 精神医学史探訪 マアリ・グローゼアの発作」酒井明夫『精神科』7(1):61-66

「パトゾラフイ 精神医学史探訪 マーヅヨリー・ケソアの

言語」酒井明夫『精神科』7(3):244-249

「不安の精神病理 不安の存在と不安の関係 精神病理学における不安概念の歴史をふり返って」新宮一成『臨床精神病理』26(2):172-180

「戦前期精神病院入院患者の男女比について(抄)」鈴木晃仁『精神医学史研究』9(1):57-58

「草創期における日本の精神分析」妙木浩之『精神分析研究』48(増刊):69-84

「うつ病の真実 古代ギリシャ医学でうつ病はどうか考えられたか」野村総一郎『こころの科学』(125):102-107

「Geel 見学者とドイツの精神医療政策」橋本明『精神医学史研究』9(1):67-78

「Geel 研究(その6) ヨロニー見学者とオーストリアの精神病院改革(抄)」橋本明『精神医学史研究』9(1):63-64

「大分県公文書館所蔵『昭和十五年監置精神病者に関する綴』解題」橋本明『日本医史学雑誌』51(3):449-451

「昭和十五年の監置精神病者(抄)」橋本明『日本医史学雑誌』51(2):276-277

「わが国の精神分析の50年と未来 精神分析学の歩みと本学会の歩み」馬場禮子『精神分析研究』48(増刊):35-40

【統合失調症の概念の変遷】統合失調症をめぐる疾病概念の変遷 Morel より Kraepelin, Bleuler まで」濱中淑彦『Schizophrenia Frontier』6(1):7-18

「高尾山滝治療 聞き書き (抄)」 星田源四郎 『精神医学史研究』 9 (1) 62

「20世紀精神医学の光と影 アメリカと日本における施設と脱施設化 「脱施設化」の挫折と今後」 星田源四郎 『精神医学史研究』 9 (2) 137-147

「宗教および家族との関連からみた日本近代の精神医療 精神障害者私宅監置をめぐって」 舟木徹男 『精神医学史研究』 9 (2) 109-116

「宗教及び家族との関連からみた日本近代の精神医療 2 (抄)」 舟木徹男 『精神医学史研究』 9 (1) 58

【統合失調症の概念の変遷】 病型概念の変遷 森本陽子、濱田秀伯 『Schizophrenia Frontier』 6 (1) 27-32

「精神医学における障害史の臨床的意義 (抄)」 山田和央 『神奈川医学会雑誌』 32 (1) 92

35 西洋医学史

「原著を探る Raynaud現象」 阿部達哉、島津邦男 『Clinical Neuroscience』 23 (3) 352-353

「世界の鍼灸コミュニケーション フランスにおける鍼灸の発展史」 フランソワ・オリオ 『全日本鍼灸学会雑誌』 55 (1) 77-85

「世界医学史の旅⑧ フランス・ポーンのオテル・デュー」 石田純郎 『ミクロスコピア』 22 (1) 47-50

「世界医学史の旅⑨ モロッコ王国を訪ねて」 石田純郎 『ミクロスコピア』 22 (2) 136-141

「世界医学史の旅⑩-⑪ 蘭医学の故郷 ライデン その一、その二」 石田純郎 『ミクロスコピア』 22 (3-4) 215-220, 300-306

【虐待のゾライマリ・ケア 子ども虐待・DV・高齢者虐待】 虐待 (家族間暴力) の発見と歴史」 井上登生 『治療』 87 (12) 3150-3154

「医職の学、ピクトリア朝改革 RSM, BMA, GMC (抄)」 栗本宗治、ゴードン・ロズマン 『医譚』 (99) 35-36

「英国医史二十世紀の例 再考 (抄)」 栗本宗治、サー・ゴードン・ロズマン 『医譚』 (100) 61-63

「ニューヨーク医学史散歩」 黒田和男 『医譚』 (100) 1-8

「脳神経疾患病棟・特別室 イエスの一言で麻酔が治ったガリラヤの男」 小長谷正明 『Brain Nursing』 21 (12) 1240-1243

『ヒポクラテス全集』における排尿障害の記述について」 斉藤博 『日本泌尿器科学会雑誌』 96 (3) 432-441

「ヒポクラテスの医 (抄)」 斎藤博 『泌尿器外科』 18 (2) 166

「デカルトの心身二元論への精神医学の一考察」 作田勉 『日本医事新報』 (4235) 41-44

「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 古代医療からギリシア医学へ」 竹中星郎 『精神科看護』 (157) 61-65

「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 古代ギリシアと自然哲学 ヒポクラテス医学が生まれる背景」竹中星郎『精神科看護』(158) 61-65

「精神医療の歴史 医療・医学の技術思想をたどる 古代ギリシアの医療、そしてヒポクラテス」竹中星郎『精神科看護』(159) 61-65

「イタリヤ医学の歴史を概観する」西村忠郎『耳鼻咽喉科・頭頸部外科』77 (7) 474-476

37 生理学史

「動物の生理学クロナクル 血圧調節と高血圧 臓器摘出と止血鉗子」西田利穂『SA Medicine』7 (1) 86-91

「動物の生理学クロナクル 血圧調節と高血圧 甲状腺と脳下垂体」西田利穂『SA Medicine』7 (2) 92-97

「動物の生理学クロナクル 血圧調節と高血圧 ミスラリー・サークル」西田利穂『SA Medicine』7 (3) 80-85

「動物の生理学クロナクル 血圧調節と高血圧 世紀の決闘の決着」西田利穂『SA Medicine』7 (4) 65-70

「動物の生理学クロナクル 血圧調節と高血圧 平行的発見現象」西田利穂『SA Medicine』7 (5) 70-75

「動物の生理学クロナクル 血圧調節と高血圧 フロイトとユカイン」西田利穂『SA Medicine』7 (6) 82-87

38 地方史

「長崎居留地と西洋医学の発展 (抄)」Burke-Gaffney Brian F.『日本腎臓学会誌』47 (6) 596

「近代歯科医学発祥の地横浜 イーストレーキの謎 (抄)」大野隼英『齒界展望』(特別) 257

「北海道におけるリハビリテーション・ソノ医療の展開」岡本五雄『北海道リハビリテーション・ソノ学会雑誌』33, 43-55

「明治以降昭和戦前期の神奈川県における産婆養成 酒井助産婦学校の事例を中心に」小川景子『東海大学短期大学紀要』(38) 7-13

「明治期神奈川県における産婆の施策 産婆規則成立まで (抄)」小川景子『日本看護科学学会学術集会講演集』(25) 192

「『神奈川県衛生名鑑』にみる昭和初期の産婆の履歴と活動 (抄)」小川景子、江幡芳枝、望月好子『母性衛生』46 (3) 211

「肥後医育を培った先哲群像 (抄)」小野友道『日本口腔粘膜炎学会雑誌』11 (2) 78

「明治6年から明治15年までの史料に見る宮城県における公文書の伝達経路」小山田信子、高橋みや子『日本看護歴史学会誌』(18) 60-68

「明治期の宮城県の精神医療・精神医学教育について」近藤等『精神医学史研究』9 (2) 129-136

「明治期の宮城県の精神医療・精神医学教育について (抄)」

近藤善 『精神医学史研究』 9 (1) 58

「住民主体の健康増進活動の形成—長野県八千穂村における実践から— (抄)」 杉山章子 『日本農村医学誌』 54 (3) 514

「住民による健康増進活動の形成その1」 杉山章子 『日本福祉大学社会福祉論集』 (114) 47-61

「住民による健康増進活動の形成 (二) —専門職による住民支援の方法 (抄)」 杉山章子 『日本医学史雑誌』 51 (2) 290-291

「フランス人医師マイエのコレラ発生報告について—生野・姫路地域における事例」 須長泰一 『日本医学史雑誌』 51 (1) 107-110

「近世地方藩医における文化活動と医師の教養形成 土浦藩医辻元順を例として」 瀧澤利行 『日本医学史雑誌』 51 (1) 83-103

「東海道の旅 江戸東京編⑩慶応医学所」 中西淳朗 『月刊保国連』 (852) 20-21

「東海道の旅 江戸東京編⑩高輪以西を行く」 中西淳朗 『月刊保国連』 (853) 22-23

「東海道の旅 江戸東京編⑩・最終回 品川駅を見る」 中西淳朗 『月刊保国連』 (854) 42-43

「ソノボジウム I 「江戸のモノづくり」における医学研究—批発と越境 岡山県邑久郡中島家史料調査報告 (一) (抄)」 中山学、黒澤学、酒井シヅ 『日本医学史雑誌』 51 (2)

160-161

「近代医学草創期から確立期に活躍した伊勢地方の本草学者ならびに医師達の群像 (抄)」 西井易穂 『ビタミン』 79 (4) 221

「北海道特産・昆布の薬史 (抄)」 西澤信 『薬史学雑誌』 40 (2) 152

「高岡長崎家の『家方抄』について—宝永期からの蘭方外科医の薬方集— (抄)」 正橋剛二 『日本医学史雑誌』 51 (2) 184-185

「郷土史家 寺石正路の燈火と兒談における明治期の漢洋治療」 松岡尚則、山下幸一 『日本医学史雑誌』 51 (4) 615-626
「蝦夷地の薬物・古文書中のアインの薬物 (抄)」 山岸喬 『薬史学雑誌』 40 (2) 153

「北海道における看護基礎教育の歴史的發展、1945-1998 社会・文化的要因の分析を中心に」 山田玲子、Valentine Patricia 『日本看護歴史学会誌』 (18) 48-59

39 治療史

「ヘルニア修復における人工物 (Prosthetics in Hernia Repair) (英語)」 Sheen Aali J. 『Surgery Today』 35 (3) 196-198

「森田療法の起源とモンテッソーリ教育法との関連についての一考察 (2) (抄)」 我妻則明 『日本森田療法学会雑誌』 16 (1) 72

- 「糖尿病患者に対する高血圧治療導入の歴史とその効果」伊藤正毅、成田琢磨、相澤義房『日本医事新報』(4232) 26-30
- 「日本における抗精神病薬の多剤大量投与の歴史(抄)」稲垣中『精神医学史研究』9(1) 62
- 「心理療法の歴史をたどり直す」江口重幸『精神医学研究所業績集』(41) 27-35
- 「医薬品副作用被害の歴史 歴史の幕開け ベニシリンの被害を振り返る」遠藤浩良『調剤と情報』11(11) 1512-1513
- 「後世に残すわが国の腎臓病学 腎不全治療の歴史」太田和夫『腎臓』28(2) 123-128
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 透析液の変遷」太田和夫『透析ケア』11(1) 101-105
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 日本透析医学会の源流」太田和夫『透析ケア』11(2) 202-205
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 人工内臓研究会のその後」太田和夫『透析ケア』11(3) 314-317
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 とらとうここまですり着いた」太田和夫『透析ケア』11(4) 436-440
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史」太田和夫『透析ケア』11(5) 552-555
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 働ける場所を求めて」太田和夫『透析ケア』11(6) 658-660
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 健康保険の支払いは始まった」太田和夫『透析ケア』11(7) 781-784
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 透析室開設に向けて最初の一步」太田和夫『透析ケア』11(8) 877-879
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 腎不全医療の新しい展開」太田和夫『透析ケア』11(9) 985-988
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 人工腎臓調査会での活動と人工腎臓センター設立」太田和夫『透析ケア』11(10) 1096-1098
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 全国的に仲間が広がり始める」太田和夫『透析ケア』11(11) 1202-1204
- 「すこし歴史の話をしましょうか はじめての透析医療史 透析医療に対する熱い思い」太田和夫『透析ケア』11(12) 1296-1298
- 「創傷治療の歴史」岡崎誠『臨床外科』60(9) 1142-1143
- 「ステロイドの歴史 鼻局所ステロイドの歴史」奥田稔『アレルギー・免疫』12(12) 1744-1748

- (2007) 53巻 3月号 日本神経学会誌
- 「糖尿病の治療の進歩 これまでの治療、これからの治療」
葛谷健『藍野学院紀要』(18) 7-13
- 「催眠と心身医学の歴史と展望」久保千春、松原慎『催眠学
研究』48(2) 1-8
- 「治療の歴史 心房細動に対するカテーテルアブレーション」
熊谷浩一郎『治療学』39(4) 444-447
- 【呼吸器科医が知っておくべきリウマチの最新治療薬と肺障
害 レンフルノミド(アラバ)を中心に】リウマチ治療の歴
史と現状」小池隆夫『呼吸器科』8(5) 383-386
- 「心身症の治療 論理療法」國分康孝『心療内科』9(6) 413-
417
- 「治療の歴史 癌と放射線の関わり」佐々木康人『治療学』
39(12) 1363-1366
- 「治療の歴史 運動療法」佐藤祐造『治療学』39(6) 657-660
- 「治療の歴史 排尿障害の治療」高橋 悟『治療学』39(11)
1254-1257
- 「治療の歴史 乳癌治療」田島知郎『治療学』39(2) 211-215
- 「治療の歴史 糖尿病の食事療法」土井邦敏『治療学』39(9)
1015-1024
- 「HISTORY 慢性肝炎治療の今昔(2)」戸田剛太郎『BIO
Clinical』20(4) 371-376
- 「治療の歴史 胃潰瘍治療」中澤三郎『治療学』39(5) 549-
552
- 「かんたんEMS入門 BLSの歴史 Mouth-to-mouth法を蘇ら
せた医師たち」中村陽子、Daya Muhammad『ERマガジン』
2(6) 522-523
- 「精神科治療理念の史的展望 摂食障害の治療理念」西園文
『精神医学史研究』9(1) 43-48
- 「治療の歴史 ロイコトリエン受容体拮抗薬」福田健『治療
学』39(1) 113-116
- 「治療の歴史 片頭痛治療の変遷」間中信也『治療学』39(8)
887-891
- 「Botulinum toxin 治療の歴史的概観(抄)」目崎高広『神経治
療学』22(3) 329
- 「ボツリヌス毒素治療の歴史的概観」目崎高広『神経治療学』
22(6) 729-732
- 「ボツリヌス療法 of 歴史と現状(抄)」目崎高広『日本重症心
身障害学会誌』30(2) 165
- 「精神科治療理念の史的展望 クロールゾロンと精神科
の治療理念」八木剛平『精神医学史研究』9(1) 49-55
- 「人類の智慧 疼痛克服の歴史 痛みの外科的治療の歴史
開頭術」横田敏勝『Arthritis—運動器疾患と炎症—』3(1)
62-64
- 【思春期問題解決の技法としての認知行動療法】認知行動療
法概説 歴史と理論」吉野聡、立川秀樹、笹原信一郎、松
崎一葉『思春期学』23(3) 279-283

「近代的創傷ドレッシングズの『過去』『現在』『未来』」ロー

ラ・L・ボルトン『Expert Nurse』21 (15) 116-119

「治療の歴史 HRT とくに心血管疾患との関連性について」

若槻明彦『治療学』39 (3) 347-350

40 伝記

「葦原儉校の遺跡と木像についてー『鑑道発秘』を著し、没

落した木曾家再興を果たした生涯 (抄)」大浦宏勝『日本

医学史雑誌』51 (2) 322-323

「葦原儉校の足跡」大浦宏勝『日本医学雑誌』51 (1) 51-81

「随想老年医学 アルツハイマー (1864~1915) 人と仕事」

小澤利男『Geriatric Medicine 老年医学』43 (1) 127-129

「大いなるスタイルの医学 アルベルト・フロンケルの科学

と臨床」石井誠士『兵庫県立大学看護学部紀要』12, 1-8

「医者も知りたい 医者のはなし 西洋医学の伝来事始 ル

イヌ・デ・アルメイダ 西九州での布教活動」木村専太郎

『臨床整形外科』40 (6) 690-693

「医者も知りたい 医者のはなし 西洋医学の伝来事始 ル

イヌ・デ・アルメイダ (その1) ボルトガルから大分へ」

木村専太郎『臨床整形外科』40 (3) 282-286

「精神医学史探訪 アンテナオクス1世の脈拍」酒井明夫『精

神科』6 (1) 52-56

「飯沼愨齋研究の想い出II」遠藤正治『愨齋研究会だより』

(104) 2-8

「青い血のカルテ 石田三成の過敏性腸症候群」早川智『産

科と婦人科』72 (11) 1676-1679

「歴史に残る斯界の人々 其の二十七 石野信安」『医道の日

本』64 (3) 口絵

「歴史に残る斯界の人々 其の三十六 石原明」『医道の日本』

64 (12) 口絵

「歴史に残る斯界の人々 其の二十六 板倉武」『医道の日本』

64 (2) 口絵

「米国開業日本人第一号・ボクトルー井正典 その在米時代

について (抄)」松本晋一、渋谷敦『歯界展望』(特別 2005)

312

「京都看病婦学校第1回卒業生伊藤てつの著述 (抄)」岡山寧

子、竹中京子、依田和美『日本看護科学学会学術集会講演

集』(25) 193

「井波一雄先生のこと」岡島徳岳『愨齋研究会だより』(105)

2-8

「井原西鶴の死因」杉浦守邦『啓迪』(23) 14-20

「ヴェェサリウスの父アンドリエスの、皇帝カール五世による

嫡出承認書 (抄)」泉彪之助『日本医学雑誌』51 (2) 292-

293

「ヴェェルニツケの臨床 没後100年を記念して (抄)」松下正

明『精神医学史研究』9 (1) 57

- 「大坂病院教師エルムソンの講義録について (抄)」中山沃
『医譚』(99) 46-47
- 「エルムソンス先生記念碑文撰者阪谷朗廬 (抄)」小田皓二
『医譚』(100) 69-70
- 「大江玄仙の栗崎流金瘡外科免許状について (抄)」川島真人、
カタリーナ・ソバタ『日本医学雑誌』51 (2) 182-183
- 「大澤謙二と『魔睡述』(抄)」安齋順子『精神医学史研究』9
(1) 61-62
- 「明治天皇侍医頭 岡玄卿について」岡利幸『漢方の臨床』
52 (12) 2143-2154
- 「医人伝 岡田立石 (多聞) の采譜」野間祐輔『広島医学』
58 (2) 135-138
- 「高血圧研究の偉人 岡本耕造」家森幸男『血圧』12 (1) 121-
126
- 「小川新先生を偲んで」中原晴夫、池田政一『漢方の臨床』
52 (10) 1665-1670, 1671-1673
- 「日本医師協会と小川劍三郎 (抄)」寺畑喜朔『日本医学雑
誌』51 (2) 244-245
- 「医学史家・小川政修 (抄)」佐藤裕『日本医学雑誌』51 (2)
242-243
- 「随想老年医学 沖中重雄 わが国の老年医学を育成」小澤
利男『Geriatric Medicine 老年医学』43 (3) 501-503
- 「小倉金之助・府立大阪医科大学数学教授 (抄)」飯塚修三
- 『医譚』(100) 68-69
- 「歴史に残る斯界の人々 其の二十五 小椋道益」『医道の日
本』64 (1) 口絵
- 「医僧・大日方大乘の略伝 (抄)」中西淳朗『日本医学雑誌』
51 (2) 240-241
- 「養生訓」の現代的意義の考察 (3) 貝原益軒の「病と医」
「老・幼の養生」論」田中和子『秋田桂短期大学紀要』(18)
101-111
- 「桂田富士郎と日本住血吸虫発見100年」小田皓二『岡山医
学会雑誌』117 (1) 1-8
- 「加門桂太郎翁と明治の医学教育」八木聖弥『京都府立医科
大学雑誌』114 (1) 31-38
- 「済生学舎開校前後の川上元治郎の手紙と報告書及び当時使
われた教科書 (抄)」岩崎一、殿崎正明、唐沢信安『日本
医学雑誌』51 (2) 208-209
- 「中国のフーペン問題と岸田吟香の対応 (抄)」丁蕾『日本医史
学雑誌』51 (2) 260-261
- 「北里柴三郎と適塾 (抄)」芝哲夫『日本医学雑誌』51 (2)
145-147
- 「北里柴三郎博士 貫いた美学と医の道」中瀬安清『日本看
護歴史学会誌』(18) 3-13
- 「孤高の外科医 Guillaume Dampyuren 男爵 (1777~1835年)」小
林晶『整形外科』56 (2) 227-236

- 「孤高の外科医ギョーム・デュピエトラン男爵 (一七七七—一八三五) (抄)」小林晶『日本医史学雑誌』51 (2) 302-303
- 「先達医家の肖像 123 Sir Richard Quain (1816-1898)」酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(399) 表3
- 「九嶋勝司先生を偲ぶ」板井嬉預子『漢方の臨床』52 (12) 2219-2220
- 「創立90周年を迎えた九州歯科大学の創設者國永正臣の生涯 (抄)」竹原直道『歯界展望』(特別2005) 314
- 「病草紙」制作と後白河法皇の思想」小山聡子『日本医史学雑誌』51 (4) 593-614
- 「愛知県立精神病院初代院長児玉昌博士の生涯と業績」後藤陽夫『精神医学史研究』9 (2) 95-108
- 「古典あれこれ ローベルト・コッホと細菌学—その1—」小川浩司『JOHNS』21 (12) 1818-1824
- 「医者も知りたい 医者のはなし 新しい血圧測定法を確立した医師コロトコフ」木村専太郎『臨床整形外科』40 (1) 62-65
- 「齋藤茂吉における性 (抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』51 (1) 125-127
- 「歴史に残る斯界の人々 其の三十一 坂本貞」『医道の日本』64 (7) 口絵
- 「泰然の現代性と先進性 医、そして「仁」」佐藤泰然伝」酒井シヅ『順天堂医学』51 (2) 272-275
- 「佐藤泰然生誕200年によせて」酒井シヅ『風媒花』(18) 26-29
- 「医者も知りたい 医者のはなし 日本赤十字創始者 佐野常民 (1822-1902) (その1-2)」木村専太郎『臨床整形外科』40 (10, 12) 1132-1136, 1318-1321
- 「フオン・ゾラソンジュエタイン家所蔵、1823年ソーボルト関係書簡の翻刻並びに翻訳 (3)」宮坂正英、ベルント・ノイマン、石川光庸『鳴滝紀要』(15) 37-74
- 「池田市大仏寺に眠るソーボルトの孫」飯塚修三『医譚』(9) 1-6
- 「ソーボルト自筆草稿『日本の自然と日本人の生きた姿』」石山禎一『鳴滝紀要』(15) 75-101
- 「アレクサンダー・フオン・ソーボルト略年譜と日本政府との雇傭関係史料について」杏沢宣賢『鳴滝紀要』(15) 13-35
- 「事件の発端となったソーボルトの手紙—阿蘭陀通詞中山作三郎が手控えたソーボルトの手紙と鷹見泉石の手紙控—」片桐一男『洋学史研究』(22) 41-59
- 「ソーボルトに提供した日本人の報告資料—最上徳内の報告した『蜜蜂』資料の紹介によせて—」片桐一男『鳴滝紀要』(15) 1-12
- 「青い血のカルテ ジョームズ1世と嫌煙権」早川智『産科と婦人科』72 (12) 1784-1789
- 「日本の脳研究者たち 白木博次 (1917-2004)」藤澤浩四郎

『Brain Medical』17 (4) 380-388

「十返舎一九の死因」杉浦守邦『医譚』(99) 23-32

「歴史に残る斯界の人々 其の二十九 城一格」『医道の日本』

64 (5) 口絵

「青い血のカルテ 平清盛の高熱」早川智『産科と婦人科』

72 (5) 638-641

「関根町桐ヶ作の眼科医 高野敬仲 (抄)」青木道夫『日本医
史学雑誌』51 (2) 196-197

「アドレナリンを発見した高峰譲吉博士の生涯 (抄)」山崎哲
盛『日本救急医学会雑誌』16 (8) 323

「高峰譲吉いわく、私は適塾生だった (抄)」中山沃『日本医
史学雑誌』51 (2) 236-237

「日本鍼灸史上における沢庵禅師の影響力について (抄)」長
野仁、小曾戸洋、石野尚吾、花輪壽彦、多留淳文『日本東
洋医学雑誌』56 (別冊) 165

「京都医事衛生誌と竹岡友仙 (抄)」奥沢康正『医譚』(100)

73-75

「田代三喜の虚像と実像」遠藤次郎、中村輝子『漢方の臨床』

52 (12) 2027-2034

「医聖田代三喜伝」村山吉廣『斯文』(113) 64-69

「青い血のカルテ ダビデ王の低体温症」早川智『産科と婦
人科』72 (2) 242-245

「先達医家の肖像 121 田原淳 (Tawara Sumao, 1875-1954)」

酒井ソヅ『MEDICAL DIGEST』(397) 表3

「アメリカの放射線安全性及び防護における Lauriston S. Taylor
の歴史的作用 (Historical Role of Lauriston S. Taylor in Amer-
ican Radiation Safety and Protection) (英語)」Yamashita
Shunichi『Acta Medica Nagasakiensia』50 (Suppl. 2) 53-56

「また鉄腕アトム氏との出会い (1)-(6)」深瀬泰旦『川崎市
医師会会報』(279-284) 114-122, 128-135, 164-173, 76-88,
70-79, 82-98

「Duchenne de Boulogne 精神病学の海賊」Rondot Pierre『精
神医学史研究』9 (1) 21-26

「デュシェンヌ・ド・ゾローニエ 神経病学の海賊」ピエー
ル・ロンド『日仏医学』29 (1) 19-33

「外科医 Dupuytren の功績と Dupuytren 拘縮の治療 臨床医
学の誕生と発展の一側面」内田満『東京慈恵会医科大学雑
誌』120 (2) 59-72

「【Gilles de la Tourette 症候群をめぐって】George Gilles de la
Tourette (1857-1904) 一代記」高橋昭『神経内科』62 (2)
117-123

「外国における医史学調査の経験—トーマス・B・ダソ医師を
例に—」泉彪之助『北陸医史』26 (1) 68-72

「関西の各医学校を歴任した富永伴五郎 (抄)」寺畑喜朔『医
譚』(99) 44

「19世紀英国の Opium に関する意識とナイチンゲール (抄)」

上坂良子『医譚』(99) 41-42

【「ナイチンゲール入門!」ナイチンゲールはこんな人】平尾真智子『クリニカルスタディ』26(4) 14-18

「夏目漱石の「アバタ」深瀬泰旦『神奈川県医師会報』(656)

101-108

「医者も知りたい 医者のはなし シーボルトに捧げた一生

宇和島の人・二宮敬作」木村専太郎『臨床整形外科』40(8)

932-935

「二宮尊徳の死因」杉浦守邦『医譚』(100) 11-19

「二宮尊徳の死因(抄)」杉浦守邦『医譚』(100) 64-67

「松本齒科大学所蔵の野口英世の伝記(第6報)」矢ヶ崎康

『松本齒学』31(2) 167-182

「野口英世の初期の事績について(抄)」森山徳長『日本医史

学雑誌』51(1) 122-123

「先達医家の肖像120 Denham Harman (1916-)」酒井シヅ

『MEDICAL DIGEST』(396)表3

「歴史に残る斯界の人々 其の三十五 橋本敬三」『医道の日

本』64(11)口絵

「先達医家の肖像122 秦佐八郎(Hata Sahachiro, 1873-1938)」

酒井シヅ『MEDICAL DIGEST』(398)表3

「謎につつまれた華岡青洲の生涯 麻沸散による全身麻酔施

行200周年を記念して」松木明知『日本臨床麻酔学会誌』

25(5) 427-440

「華岡青洲研究史」松木明知『日本医史学雑誌』51(3) 355-

384

「華岡青洲の医の哲学」松木明知『日本医事新報』(4262) 25-

29

「先人はかく語りき vol. 2 パラケルスス (1493-1541)」酒井

シヅ『武田薬報』(442)表3

「歴史に残る斯界の人々 其の三四 原志免太郎」『医道の日

本』64(10)口絵

「Hans Berger の性格とそのライフワークの特徴(抄)」山口

成良『北陸神経精神医学雑誌』19(2) 43

「歴史に残る斯界の人々 其の二十八 樋口敏之助」『医道の日

本』64(4)口絵

「先人はかく語りき vol. 1 ヒポクラテス」酒井シヅ『武田薬

報』(441)表3

「歴史に残る斯界の人々 其の三十二 平田蔵吉」『医道の日

本』64(8)口絵

「「革箱医匠」(一八五四)にみる平野重誠の医療観(抄)」中

村節子、平尾真智子『日本医史学雑誌』51(2) 192-193

「治安維持法と平畑静塔」石川文之進『栃木県医学会々誌』

35, 145-150

「精神医学史における福沢諭吉」山内慶太『精神医学史研究』

9(1) 7-12

「歴史に残る斯界の人々 其の三十三 福島弘道」『医道の日

- 本』64 (9) 口絵
- 「古典あれこれ フレミングズの鼻水—その1、その2—」小川浩司『JOHNS』21 (10-11) 1542-1547, 1688-1692
- 「先達医家の肖像 119 Irvine H Page (1901-1991)」酒井ソヅ『MEDICAL DIGEST』(395)表3
- 「知られざる科学者 ベットンコーフェル 第三話」植木殉子『ミクロスコピア』22 (1) 40-43
- 「先人はかく語りき vol. 3 クロード・ベルナル (1813-1878)」酒井ソヅ『武田薬報』(443)表3
- 「京都大学整形外科学教室初代教授 松岡道治の事績、業績—第一報 京都大学整形外科学教室の創立」廣谷速人『日本医学雑誌』51 (3) 385-408
- 「京都大学整形外科学講座初代教授松岡道治先生の生涯 (抄)」廣谷速人『日本医学雑誌』51 (2) 238-239
- 「先達医家の肖像 118 James Mackenzie (1853-1925)」酒井ソヅ『MEDICAL DIGEST』(394)表3
- 「泰然の現代性と先進性 医、そして「仁」」『暁の旅人 (松本良順伝)』と創作ノート」吉村昭『順天堂医学』51 (2) 276-282
- 「歴史に残る斯界の人々 其の三十 三木健次」『医道の日本』64 (6) 口絵
- 「青い血のカルテ 源実朝の二日酔い」早川智『産科と婦人科』72 (1) 98-101
- 「三宅秀とその周辺 (抄)」佐々木恭之助『日本医学雑誌』51 (2) 148-149
- 「三宅秀とその周辺」佐々木恭之助『日本医学雑誌』51 (3) 409-430
- 「若干の宮沢通觀資料」多治比郁夫『杏雨』(8) 242-260
- 「青い血のカルテ スコットランド女王マリアの拒食症」早川智『産科と婦人科』72 (3) 390-395
- 「森田正馬を巡る文人脈と科学人脈 (脳解剖学史との関連の中で) 森田療法誕生の土壌と、森田正馬の生い立ち、及び関心事 (その4) (抄)」澤野啓一『日本森田療法学会雑誌』16 (1) 71
- 「16世紀におけるモンターニユの尿路結石について」斉藤博『泌尿器外科』18 (1) 51-57
- 「歴史的に迎った矢数四郎 (道明) 先生の業績」松本克彦『漢方の臨床』52 (10) 1481-1483
- 「恩賜神農像と矢数道明先生」小曾戸洋『斯文』(113) 82-96
- 「矢数道明先生と私、他」高島文一『漢方の臨床』52 (10-12) 「能登の兜堂門人 安田元藏について (抄)」佐原吉博、寺畑喜朗『医譚』(100) 75-76
- 「山崎佐の錦小路文章」の顛末 (抄)」樫田義彦『日本医学雑誌』51 (1) 127-128
- 「親試実験」考 (抄)」小曾戸明子『医譚』(99) 48-49
- 「親試実験」考—その2 (抄)」小曾戸明子『医譚』(100) 78

「青い血のカルテ 淀の方の更年期障害」早川智『産科と婦人科』72 (6) 776-780

「Johannes Lange (1891-1938) と躁うつ病の境界領域 とくに緊張症状を伴う病像についての彼の見方とその限界 (抄)」迎 豊『精神医学史研究』9 (1) 56-57

「ラフカデイオ・ハーンとハンセン病 母の手の温もり」小野友道『日本臨床皮膚科医会雑誌』22 (5) 345-349

「皮膚病の歴史と世間 ラフカデイオ・ハーンとハンセン病 (抄)」小野友道『日本臨床皮膚科医会雑誌』22 (3) 150

「一八八六年におけるリンダ・リチャーズの上海から京都への足跡 (抄)」岡山寧子、依田和美『日本医史学雑誌』51 (2) 214-215

「ローリー・ギヤレット『崩壊の子兆』白崎昭一郎『福井県医師会だより』(524) 34-36

「杏齋正骨要訣の校訂者と田謙堂の家系と同書の成立年代 (抄)」浦原宏『日本医史学雑誌』51 (2) 186-187

41 伝記 (双)

「緒方洪庵と添田玄春—西洋医学所頭取役宅の新築をめぐる」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』51 (3) 337-354

「Minor 発汗学の継承者、Ludwig Guttmann と Carl F. List の業績について」田村直俊、中里良彦、島津邦男『発汗学』12 (2) 90-93

「線陰閑話」宗教改革者カルヴァンと医学者たち、晩年の病など」濱中淑彦『名古屋医報』(1286) 9

「医家合田家の歴史と蔵書」町泉寿郎、小曾戸洋、天野陽介、花輪壽彦『日本医史学雑誌』51 (4) 527-548

「杉田玄白「蘭学事始」(平成蔵記版) 玄白、緒方洪庵、そして緒方富雄」異典之『医学と生物学』149 (6) 211-224

「世界の権者」鈴木大拙のつぶやき—鷗外、漱石、大拙—」葛谷登『言語と文化』(12) 39-51

「スロイヌとホルトルマンソンの最新化学の講義」板垣英治『北陸医史』26 (1) 73-77

「ツェンペリーとシーボルト」澤崎博次『ほすびたる らいぶらりあん』30 (2) 112-115

「ナイチンゲールの宗教観に関する若干の考察 友人アマー・ヘュー・クララとの関わりを手がかりに (その2)」柴田京子、津田右子、佐々木秀美『総合看護』40 (4) 73-80

「医聖永田徳本—その医師の位置づけと PA パラケルススとの対比を中心として (抄)」山田英雄、山内一信『日本医史学雑誌』51 (2) 272-273

「ドイツ領事ハーバーと星一 (抄)」山 朝江、三澤美和『葉史学雑誌』40 (2) 154

「古典あれこれ フロイトと耳鼻咽喉科医フリースとの接点—Nasalreflexneurose について—」飯田収『JHNS』21 (8) 1178-1182

「星一と後藤新平の親交とその運命 (抄)」三澤美和『日本薬学会 125 年会講演要旨集』(4) 219

「1904 年のアトル・マイヤーと呉秀三 (抄)」松下正明『精神医学史研究』9 (1) 64

「心理療法を重視した精神科医の解剖学者・自然科学者としての側面 丸井清泰・杉田直樹を中心に (抄)」澤野啓一『精神医学史研究』9 (1) 61

「南小柳寧一とその家系 (抄)」石原力『日本医史学雑誌』51 (2) 198-199

「大阪医薬史跡を訪ねて 山脇東洋と永富独脚庵」米田諒典『漢方研究』(405) 30-34

42 伝染病史・防疫史・感染症史

「近代日本におけるコレラの伝播 (三) (抄)」市川智生『日本医史学雑誌』51 (2) 226-227

「江戸幕府の法定伝染病—痘瘡・麻疹・水痘— (抄)」川部裕幸『日本医史学雑誌』51 (2) 202-203

「ハンセン病者の〈生活をつくる実践〉戦後復興期の沖繩愛楽園を事例として」桑畑洋一郎『保健医療社会学論集』16 (2) 66-78

「ハンセン病者の〈生活をつくる実践〉戦後復興期の沖繩愛楽園を事例として (抄)」桑畑洋一郎『保健医療社会学論集』16 (特別) 33

「GHQ 文書による占領期のハンセン病関係資料の研究 (第二報：沖繩と大韓民国について) (抄)」杉田聡、丸井英二『日本医史学雑誌』51 (2) 280-281

「近代日本におけるコレラの伝播 (一) (抄)」鈴木晃仁『日本医史学雑誌』51 (2) 222-223

「江戸時代の「癩」と梅毒 (抄)」鈴木則子『日本医史学雑誌』51 (2) 200-201

「黒死病はペストか—黒死病の謎」滝上正『日本医史学雑誌』51 (4) 662

「近代日本におけるコレラの伝播 (二) (抄)」永島剛『日本医史学雑誌』51 (2) 224-225

「朝敵としての癩病 (抄)」ペイ アレキサンダー『日本医史学雑誌』51 (2) 232-233

43 東洋医学史・伝統医学史

『雑療方』の写真版再考 (抄)」天野陽介、宮川浩也、小曾戸洋、小林健二、石野尚吾、花輪壽彦『日本東洋医学雑誌』56 (別冊) 166

『日本医譜』に記された脈診による天災予知 (抄)」天野陽介、宮川浩也、小林健二、野澤隆幸『日本医史学雑誌』51 (2) 324-325

「漢代の性具について (抄)」猪飼祥夫『医譜』(99) 36-38

「先秦から秦漢にいたる食人風習と臟腑認識」猪飼祥夫『医譜』(99) 36-38

- 譚』(100) 28-33
- 「先秦の食人風習と臟腑認識 (抄)」猪飼祥夫『医譚』(100) 63-64
- 「臍足と鍼灸—近代の習俗から見た婦女の足部経穴—」猪飼祥夫『漢方の臨床』52 (11) 1795-1800
- 「華佗骨刮関羽箭療治図」石出猛史『千葉医学雑誌』81 (5) 213-218
- 「医は意なり 劉く『旧唐書』許胤宗伝より」岩井祐泉『経絡治療』(160) 73-77
- 「疔瘡に対する松鍼法 (抄)」上田善信『日本医史学雑誌』51 (2) 258-259
- 「日本におけるア—ユルヴェーダ その現状と問題点」上馬場和夫『東方医学』21 (2) 27-33
- 「女性診療における日本漢方 古方派漢方の歴史と更年期医療への応用」後山尚久『産婦人科の進歩』57 (2) 131-150
- 「はじめの女性漢方医療 日本漢方の歴史」後山尚久『産科と婦人科』72 (5) 619-625
- 「田代三喜斎昌純の医学 (抄)」遠藤次郎、中村輝子『日本東洋医学雑誌』56 (別冊) 163
- 「中医学と中国思想」汪先恩『日中医学』19 (5) 27-33
- 「大塚敬節による『類聚方広義』解釈 (43-48)」大塚賢治、渡辺洋井『漢方の臨床』52 (4-5, 8-11) 577-586, 746-750, 1237-1243, 1359-1368, 1601-1611, 1863-1872
- 「日中医学交流史 17. 改めて「屠蘇酒」の意味を解釈する」郭秀梅『日中医学』19 (5) 18-20
- 「日中医学交流史 20. 『医籍考』による『四庫全書提要』批判」郭秀梅『日中医学』20 (2) 28-31
- 「分等」から「等分」への変遷 (抄)」郭秀梅『日本医史学雑誌』51 (2) 314-315
- 「江戸幕府鍼科医員の治療の一断面—「天璋院様御麻疹諸留帳」を中心として—」香取俊光『漢方の臨床』52 (12) 2122-2132
- 「近世中国のア—ン中毒」金川英雄『精神医学研究所業績集』(41) 111-112
- 「近世中国のア—ン中毒 (抄)」金川英雄『精神医学史研究』9 (1) 62-63
- 「古代エジプトの医療 附、現代エジプトの医療と国民性」木下勤『漢方の臨床』52 (12) 2133-2142
- 「楊貴妃と荔枝」木下勤『漢方の臨床』52 (3) 488-490
- 「楊貴妃の逸話について」木下勤『漢方の臨床』52 (5) 810-813
- 『史記』扁鵲倉公伝」小曾戸洋『漢方と鍼』29 (4) 4
- 「馬王堆漢墓医書」小曾戸洋『漢方と鍼』29 (2) 4
- 「馬王堆漢墓医書 その二」小曾戸洋『漢方と鍼』29 (3) 4
- 「目で見る漢方史料館 (197) 神農画像賛二題—矢数道明・徳川綱吉」小曾戸洋『漢方の臨床』52 (1) 2-4

『金匱要略』禽獸魚虫禁忌并治第二十四 平成新釈(4)」杉

山広重『漢方の臨床』52(2) 312-318

『金匱要略』雜療方第二十三 平成新釈(1-4)」杉山広重

『漢方の臨床』52(5-6, 8, 10) 785-790, 944-948, 1258-1262,
1640-1644

『奇経八脈についての再考』孫基然『鍼灸 OSAKA』21(1) 85-

90

『意釈』審視瑠函(傳仁字著)(8) 孫基然、黒木悟、安井

廣迪『漢方の臨床』52(2) 292-294

『秘伝・杉山真伝流の概要について』高橋昇造『経絡鍼灸』

37(9) 43-57

『象内納入品「臟腑経絡」覚え書一清涼寺、誓願寺その他の

内臟模型をめぐって(上・下)』谷田伸治『漢方の臨床』

52(11-12) 1801-1816, 2111-2121

『山田業広著『金匱要略集注』訓読(29-30)』千葉古方漢方

研究会『漢方の臨床』52(1, 10) 141-148, 1645-1651

『吾妻鏡の鍼灸(抄)』寺川華奈『日本医史学雑誌』51(2)

266-267

『日中医学交流史 19. 中国と日本の整骨術を折衷した『整骨

範』』陶恵寧『日中医学』20(1) 32-35

『三谷公器『解体発蒙』刺絡(抄)』友部和弘、石野尚吾、花

輪壽彦『日本東洋医学雑誌』56(別冊) 165

『南宋代の体系的脈状記載について(抄)』中川俊之『日本医

史学雑誌』51(2) 256-257

『吉田流鍼穴法』(1) 明人・塚周の秘伝 吉田流鍼術について

(1) 流儀書の構成」長野仁『鍼灸 OSAKA』20(4) 347

『吉田流鍼術について 匹地流との関連』長野仁『鍼灸
OSAKA』21(1) 5-7

『中国における医療と本草の歴史IV-1 歴史的医薬の大著を

次々と編撰させた宋代帝王 宋代の本草①』難波恒雄『漢

方医薬新聞』(361) 10

『中国における医療と本草の歴史IV-2 新薬は増加の一路、

東西薬物交流は日本にも及ぶ 宋代の本草②』難波恒雄

『漢方医薬新聞』(362) 6

『中国における医療と本草の歴史IV-3 宋代に数多く校刊さ

れた本草書の編撰の経緯を解説 宋代の本草③』難波恒雄

『漢方医薬新聞』(363) 10

『中国における医療と本草の歴史IV-4 各種本草書の集大成

『政和本草』30巻により薬物学模範書が完成 宋代の本草

④』難波恒雄『漢方医薬新聞』(364) 6

『中国における医療と本草の歴史IV-5 『政和本草』の補完目

的で書した『本草広義』が好評を博す 宋代の本草⑤』難

波恒雄『漢方医薬新聞』(365) 10

『中国における医療と本草の歴史V-1 窮乏の人民を救うべ

く発展した金元四大家の学説 金・元代の本草①』難波恒

雄『漢方医薬新聞』(366) 6

- 「中国における医療と本草の歴史V-2 君臣佐使の理論形成を分析 金・元代の本草②」難波恒雄『漢方医薬新聞』(388) 10
- 「中国における医療と本草の歴史VI-1 君臣佐使の理論形成を分析 明代の本草①」難波恒雄『漢方医薬新聞』(369) 10
- 「中国における医療と本草の歴史VI-2 『本草綱目』誕生秘話 明代の本草②」難波恒雄『漢方医薬新聞』(370) 10
- 「中国における医療と本草の歴史VI-3 海外各地に流出した文献の復刻を願う難波氏 明代の本草③」難波恒雄『漢方医薬新聞』(371) 4
- 「中国における医療と本草の歴史VII-1 実用に適した本草書が多数著される 清代の本草①」難波恒雄『漢方医薬新聞』(372) 4
- 「中国における医療と本草の歴史VII-2 薬効解析は生物学として進展した日本の本草学 清代の本草②」難波恒雄『漢方医薬新聞』(373) 9
- 「中国における医療と本草の歴史VII-3 植物1714種、写実的な図による解説を高く評価 清代の本草③」難波恒雄『漢方医薬新聞』(374) 6
- 「中国における医療と本草の歴史VIII-1 『神農本草経』の主な系統を表示」難波恒雄『漢方医薬新聞』(375) 10
- 「中国における医療と本草の歴史VIII-2 20世紀に入り英文解説書多教」難波恒雄『漢方医薬新聞』(378) 9
- 「中国における医療と本草の歴史VIII-3 勅撰医書・薬物書としての3千年以上の保護を国家が継続」難波恒雄『漢方医薬新聞』(380) 10
- 「鍼灸理論と『易経』(その3) 象徴としての、坤上、命門、グレートマザー」西岡敏子『伝統鍼灸』31(3) 80-90
- 「ユア・カリキュラム時代の漢方『傷寒論』について」花輪壽彦『日本医事新報』(4221) 44-49
- 「日本漢方の伝統(抄)」花輪壽彦『日本医史学雑誌』51(2) 150-157
- 「宝永・正徳期唐船舶載漢薬の日本流入―『唐密貨物帳』を中心にて―」羽生和子『医譚』(100) 34-45
- 「昭和の古典医学的鍼灸集団「経絡治療」派の群像 丸山昌朗」藤原知『医道の日本』64(7) 186-188
- 「健康をめぐる歴史パノラマ 古代中国の健康観」真壁伍郎『総合看護』40(2) 49-60
- 「健康をめぐる歴史パノラマ 古代インドの知恵」真壁伍郎『総合看護』40(3) 49-64
- 「健康をめぐる歴史パノラマ 古代イスラエル社会での健康」真壁伍郎『総合看護』40(4) 33-47
- 「台湾訪書志 I 故宮博物院所蔵の医薬古典籍(二十二～二十六)」真柳誠『漢方の臨床』52(1, 4-5, 7-8) 177-182, 641-648, 791-796, 1121-1126, 1263-1268
- 「日中医学交流史22. ことばの日中キヤッチボール料理の

語源と敦煌医書— 真柳誠 『日中医学』 20 (4) 24-26

「君臣佐使に関する東洞流の認識 (抄)」水野洋子 『日本医史学雑誌』 51 (2) 320-321

「現代中国の農村社会の変遷における郷村医の形成—はだし
の医者」の形成と「再生」—」三橋かほり 『日本医史学雑誌』

51 (4) 569-592

「張文仲の鍼灸について (抄)」宮川隆弘 『日本医史学雑誌』
51 (2) 254-255

「漢方医学の歴史とその背景を成すもの」安井廣迪 『福岡医
師漢方研究会会報』 26 (5) 5-29

「経・経絡治療の夜明け 随証療法の発車」山口秀敏 『経絡
治療』 (160) 89-97

「箭庵ひとりごと 漢方医学復興の源流を探る (1)」山田光
胤 『漢方療法』 8 (11) 4-5

「箭庵ひとりごと 現状の日本漢方、少い流派の壁」山田光
胤 『漢方療法』 9 (4) 236-237

「資料でたどる日本鍼灸史 (39-44) —菅沼周桂の鍼灸①—
⑥—」山本徳子 『医道の日本』 64 (3-8) 220-221, 212-214,

169-171, 174-175, 189-191, 192-194

「資料でたどる日本鍼灸史 (45-46) —小阪元祐の経血書①—
②—」山本徳子 『医道の日本』 64 (10-11) 190-191, 191-192

「医余」(尾台榕堂著) について (5-8)」横田觀風 『漢方の
臨床』 52 (2, 5-6, 8) 305-311, 797-802, 949-955, 1269-1272

「尾台榕堂著『閑窓筆録』に散見する漢方医の交友の一例」

横田觀風 『漢方の臨床』 52 (10) 1520-1524

「道教と中国医学 (第二十五回) 『功過格』 (抄)」吉元昭治
『日本医史学雑誌』 51 (2) 248-249

「岡田豊所と清末の日中医学交流史料」梁永宣、真柳誠 『日
本医史学雑誌』 51 (1) 25-49

「日中医学交流史 18. 葉騰の啓蒙に思うこと」魯紅梅 『日中
医学』 19 (6) 28-30

「日中医学交流史 21. 暮らしのなかの養生—食からみる現代
日本の養生について—」魯紅梅 『日中医学』 20 (3) 26-28

「西洋医学の目、東洋医学の目」渡辺賢治 『日本心療内科学
会誌』 9 (2) 73-77

44 内科史

「血球形態学の歴史 形態学の果実と限界」柴田昭 『日本検
査血液学会雑誌』 6 (1) 1-11

「日本の血液学 血液学関連学会小史」柴田昭 『血液フロン
テア』 15 (3) 468-476

「頭痛学の進歩 最新の基礎・臨床研究」概論 頭痛研究
史」柴田興一 『日本臨床』 63 (10) 1699-1704

「副腎と高血圧」副腎と高血圧の医学史」竹田亮祐 『血圧』
12 (7) 775-780

「赤血球膜に秘められた歴史の小箱 多彩な Band 3 異常症

「皮膚科医学史 2世紀の膏薬ねり板」中西淳朗『皮膚病診療』27(6) 715

「皮膚科医学史 新撰・東京検梅史(1)～(2)」中西淳朗『皮膚病診療』27(10-11) 1220-1221, 1342-1343

「皮膚科医学史 新撰・東京検梅史」中西淳朗『皮膚病診療』27(12) 1468-1470

「皮膚科に関するいくつかの話題 平安時代から現代(抄)」服部瑛『茨城県臨床医学雑誌』(41) 101-102

46 泌尿器科史

「泌尿器学とはじめ 腎摘除術 Nephrectomy (1)～(4)」折笠精一『泌尿器外科』18(4-7) 345-347, 617-619, 689-691, 835-838

「関連医学の進歩・現状 泌尿器科学の過去・現在・未来」梶 亮『歯科学報』105(2) 103-112

47 病院史

「戦後日本の病院建築計画史」上野淳『病院』64(11) 942-948
「アイルランドに開設された世界最初のホスピス 聖母マリア・ホスピス」大野竜三『緩和医療学』7(1) 59-64

「職身の遺産 熊本における二つの私立ハンセン病病院」鎌田澄子『聖母大学紀要』(創刊) 25-31

「第一次大戦後のフランス精神病院改革について Julien

Raynierの著作を通して(抄)」高内茂、森隆志『精神医学史研究』9(1) 64

「農村医療にかいた佐久病院の60年」夏川周介『日本農村医学会雑誌』54(3) 224-227

「ゲール見学と1900年前後のオーストリアの精神病院改革」橋本明『精神医学史研究』9(2) 117-128

「精神科診療所の歴史、第一報」堀みゆき、金川英雄『精神医学研究所業績集』(41) 54-58

「ムーアファミリーズ眼科病院の設立について(抄)」柳澤波香『日本医史学雑誌』51(2) 300-301

48 病跡学

「病跡学の過去・現在・未来 病跡学の過去(抄)」大森健一『日本病跡学雑誌』(70) 15-16

「三英傑の健康診断 信長・秀吉・家康の臨床カルテ」篠田達明『日本病院会雑誌』52(11) 1608-1624

「病跡学の過去・現在・未来 病跡学の現在(抄)」山田和夫『日本病跡学雑誌』(70) 17

49 病理学史

「血液病理学の進歩と診断システム」血液病理学の進歩と発展の歴史」難波紘二『医学のあゆみ』215(12~13) 935-941

51 仏教医学史

「仏教医学に見られた薬物の変遷 フェルヴェーダから正倉院まで (抄)」山田光男『薬史学雑誌』40(2)163

52 法医学史

【公衆衛生と監察医制度】法医学 (法医解剖) の歴史」池本 卯典『公衆衛生』69(4)269-272

「火葬された遺骨のDNA鑑定 その原理と信頼度について」石山昶夫『ミクロスコピア』22(2)84-86

53 放射線医学史

「わかりやすい放射線医学 放射線医学確立への道を拓いた人びと—5」久保田進『放射線科学』48(1)34-36

「口腔癌治療における放射線医学の役割 1954年来の日本における歴史的回顧と明日への志向 (抄)」清水正嗣『歯科放射線』45(1)23-24

「放射線治療学史 (3)」館野之男『日本医学放射線学会雑誌』65(1)44-57

「放射線治療学史 (4) 放射線治療の発展 1920年頃から」館野之男『日本医学放射線学会雑誌』65(2)131-138

「放射線治療学史 (5)」館野之男『日本医学放射線学会雑誌』65(3)281-290

【放射線治療学史】放射線治療の進歩」館野之男『日本医学

放射線学会雑誌』65(4)459-469

54 本草学史・博物学史

「シーボルト用薬の植物と『泰西本草名疏』」遠藤正治『伊藤主介日記第十一集』155-187

「蘭方の薬用植物と本草」遠藤正治『杏雨』(8)168-188
「きのご図譜から菌類学の発達を見る」奥沢康正『杏雨』(8)211-241

「大坂東町奉行所に発生した靈芝に集まった学者たち」奥沢康正、中道洋平、田村哲二『医譚』(99)7-11

「菅百社と祝賀文化」福岡真紀『慾齋研究会だより』(103)2-7

55 麻酔学史

「続「楽しい薬理学」ハイド氏の行方 汚物薬ドレック・アボテク」岡部進『薬局』56(8)2512-2517

「続「楽しい薬理学」麻酔薬の発見 笑気ガス」岡部進『薬局』56(10)2843-2848

「続「楽しい薬理学」麻酔薬の発見 大光輝を逸したゼーザー」岡部進『薬局』56(11)3024-3028

「続「楽しい薬理学」麻酔薬の発見 ドクター・コールドの役割」岡部進『薬局』56(12)3186-3190

「吸入麻酔薬開発の歴史 セボフルランの歴史的位置付け」風間富栄『防衛医科大学校雑誌』30(3)136-144

- 「描かれた『痛み』 モルトンと華岡青洲による全身麻酔の始まり」外須美夫 『日本胸部臨床』 64 (7) 669-671
- 「描かれた『痛み』 19世紀後半の痛み キリスト教の影響」外須美夫 『日本胸部臨床』 64 (8) 761-762
- 「描かれた『痛み』 19世紀後半の痛み 医学の進歩と痛み」外須美夫 『日本胸部臨床』 64 (9) 862-864
- 「描かれた『痛み』 万葉集と古事記のなかの痛み」外須美夫 『日本胸部臨床』 64 (11) 1058-1060
- 「外科学温故知新 麻酔の始まりと麻酔科学の進歩」外須美夫 『臨床外科』 60 (12) 1415-1421
- 「麻酔科学史の新研究 ウィリアム・T.G.モートンのエーテル麻酔を見た幕末の日本人医師たち」松木明知 『麻酔』 54 (2) 202-208
- 「麻酔の歴史」村井繁夫 『岩手医科大学歯学雑誌』 30 (2) 137-145
- 「麻酔科医の臨床ノート 脊椎麻酔 (脊髄クモ膜下麻酔) の安全」森脇克行 『からだの科学』 (241) 96-97
- 57 薬学史**
- 「薬の歴史-日本の医薬品の貢献 (抄)」青木初夫 『日本薬学会 125 年会議演要旨集』 (1) 37-38
- 「生薬療法学者の眼 ゲンノシヨウコ (下)」伊沢凡人 『総合看護』 40 (1) 65-66
- 「江戸時代に開催された薬品会の時代的特徴 (抄)」今井優介、遠藤次郎、中村輝子 『薬史学雑誌』 40 (2) 156
- 「江戸時代の薬品会に出品された朝鮮薬剤 (抄)」今井優介、齋藤圭子、中村輝子、遠藤次郎 『日本薬学会 125 年会議演要旨集』 (4) 139
- 「日向薬事始め (その2) 加来飛霞と延岡藩での採薬 (抄)」岩井勝正、井本真澄、宇佐見則行、山本郁男 『日本薬学会 125 年会議演要旨集』 (4) 219
- 「【利尿薬の正しい使い方 基礎と臨床】利尿薬の歴史」遠藤仁 『腎と透析』 58 (2) 124-127
- 「明治以来富山の薬学校の歩み」大橋清信 『薬史学雑誌』 40 (1) 1-7
- 「6年制薬学生のための薬学史資料」日本史に現われた主な疾病年表』の作成」奥田潤、飯田耕太郎 『薬史学雑誌』 40 (2) 137-146
- 「薬学生のための薬学史年表作成の試み 疾病史年表の追加 (抄)」奥田潤、飯田耕太郎 『薬史学雑誌』 40 (2) 158
- 「若い薬学者の会」と北海道 戦後日本の薬学運動史 (1) (抄)」川瀬清 『薬史学雑誌』 40 (2) 157
- 「薬用植物の導入及び栽培に関する史的研究 1. 『御返答書 薬草十二種植付の件』についての考察」北村美江、松尾幸子 『薬史学雑誌』 40 (1) 8-12
- 「ハッサクの天然薬用資源としての利用と薬能評価」久保道

- 徳、松田秀秋、友廣教道、播磨章一『薬史学雑誌』40(1) 47-51
- 「落語の中の医薬品 (第五報) (抄)」五位野政彦『薬史学雑誌』40(2) 162
- 「ウルソデキシコール酸 (UDCA) の発見」佐分利保雄『日本医学雑誌』51(4) 660-661
- 「Charles Ernest Overton と麻酔薬のリボイド説 (抄)」末廣雅也『薬史学雑誌』40(2) 160
- 「ガンビヤの処方売薬は中国高僧・鑑真がもたらした」杉山茂『薬史学雑誌』40(2) 122-124
- 「児茶鈎藤・ガンビール (Gambir) II その薬理作用」杉山茂『薬史学雑誌』40(1) 29-33
- 「茶 (中国) が生まれた国」杉山茂『薬史学雑誌』40(2) 117-121
- 「茶のルーツとガンビール (ガンビヤ)」杉山茂『薬史学雑誌』40(2) 98-106
- 「新くすり歳時記 朝顔と枸杞」鈴木昶『漢方療法』9(5) 386-389
- 「春の七草考」鈴木堯『漢方の臨床』52(1) 164-176
- 「活性型ビタミンDはいかにして発見され、臨床医学に導入されたか (抄)」須田立雄『松本歯学』31(2) 198
- 「日本の天然ビタミンA産業開拓の歴史」曾根博、夕田光治、東伸好、妹尾春樹『ビタミン』79(2) 97-112
- 「岡本直榮」断片—日本における初期女性薬剤師の軌跡」高橋文、小林桂子『薬史学雑誌』40(1) 52-61
- 「近代日本医薬品産業の発展 (その8) 製薬企業におけるモルヒネを中心としたあへんアルカロイド・オピオイド系製剤の変遷」竹原潤『薬史学雑誌』40(1) 34-40
- 「ノルウエーで1993年に廃止された医薬品承認に関するニーズ・クローズ制度 (抄)」津谷喜一郎『薬史学雑誌』40(2) 164
- 「くすりの刑形について考える 進化する刑形と調剤上の留意点」刑形の進歩 刑形の歴史」寺田勝英『Medical Pharmacy』39(1) 1-5
- 「ペニシリンの生い立ちを探る リゾチームを発見する」中島祥吉『PHARM TECH JAPAN』21(14) 2371-2374
- 「万病一毒」の薬箱について (抄)」中村輝子、遠藤次郎『日本東洋医学会雑誌』56(別冊) 164
- 「ソソボジウムI 「江戸のモノづくり」における医学研究—拡充と越境 新宮京庭の薬箱の検討 (抄)」中村輝子、遠藤次郎、ワナルフガンゾグ・ミヒエル『日本医学雑誌』51(2) 166-167
- 「解体新書異聞 水銀と梅毒 (抄)」西井易穂『ビタミン』79(3) 178-179
- 「衣服用防虫剤「藤澤樟脳」の100年 (6) 戦時下における藤澤樟脳」服部昭『薬史学雑誌』40(1) 22-28

「衣服用防虫剤「藤澤樟脳」の100年(7) 価格と包装」服部昭『薬史学雑誌』40(1) 41-46

「脾胃論」における生薬の用法と『内外傷弁惑論』との関連」府和隆子、小曾戸洋、谿忠人『薬史学雑誌』40(1) 13-21

「星一記念室にある揮毫」三澤美和『薬史学雑誌』40(2) 125-131

「錠剤の歴史 序に代えて」三宅康夫『PHARM TECH JAPAN』21(1) 69-76

「錠剤の歴史 錠剤の歴史についての米国文献 米国の成書にみる用語「Tablet」の起源と錠剤の歴史概要」三宅康夫

『PHARM TECH JAPAN』21(2) 271-277

「錠剤の歴史 錠剤の歴史についての米国文献 1914年のL.F. Kehlerによる錠剤史に関する総説」三宅康夫『PHARM

TECH JAPAN』21(3) 389-398

「錠剤の歴史 日本薬局方(初版) 公布前後における調剤学などの教科書における錠剤の記述」三宅康夫『PHARM

TECH JAPAN』21(5) 729-740

「錠剤の歴史 日本薬局方およびその解説書における錠剤に関する記述の変遷その1 1局から4局、およびそれらの

解説書」三宅康夫『PHARM TECH JAPAN』21(6) 893-903

「錠剤の歴史 日本薬局方およびその解説書における錠剤に関する記述の変遷 5局から7局、およびそれらの解説書」

三宅康夫『PHARM TECH JAPAN』21(7) 1169-1182

「錠剤の歴史 日本薬局方およびその解説書における錠剤に関する記述の変遷 8局から14局、およびそれらの解説書」三宅康夫『PHARM TECH JAPAN』21(8) 1341-1350

「錠剤の歴史 製剤技術史における錠剤に関する技術進歩

第2次世界大戦終戦後から1960年代頃まで」三宅康夫『PHARM TECH JAPAN』21(9) 1491-1501

「錠剤の歴史 製剤技術史における錠剤に関する技術進歩 1970年代から1980年代頃まで」三宅康夫『PHARM TECH

JAPAN』21(10) 1659-1674

「錠剤の歴史 製剤技術史における錠剤に関する技術進歩 1990年代から21世紀初頭まで」三宅康夫『PHARM TECH

JAPAN』21(11) 1833-1836, 1839-1844, 1847-1852

「戦後60年間の薬学教育の改革に関して薬学会、薬剤師会、病院薬剤師会、薬学教育協議会、文部科学省及び厚生労働

省が果たした役割の検証」山川浩司、百瀬和享『薬史学雑誌』40(2) 81-97

「ゾルロン酸・医薬品研究開発の軌跡を迎える一石館守三教室の研究業績を中心に―」山田光男『薬史学雑誌』40(2) 132-136

「麻黄に関する史的考察(1) 古来の正品ならびに和産麻黄の

原植物について」吉澤千絵子、北出万紀子、御影雅幸『薬史学雑誌』40(2) 107-116

58 蘭学史

- 「大坂『蘭学』の背景 (抄)」W・ミヘル『医譚』(99) 59-60
- 「蘭方医事が来た道 17, 18 世紀を中心に (抄)」W・ミヘル『医譚』(99) 50-51
- 「大坂の蘭学の特質 蘭方系医学の展開をめぐる (抄)」浅井允晶『医譚』(99) 58-59
- 「西玄甫より久原甫雲に授与された阿蘭陀流外科免許状」飯塚修三『医譚』(100) 54-60
- 「大坂の蘭学 洪庵からオランダ医まで (抄)」石田純郎『医譚』(99) 52-53
- 「【あのとときの食、これからの食】あのとときの食を考える オランダ正月料理」川島真人『クリニシアソ』52 (1) 22-26
- 「整形外科と蘭学 華岡青洲の麻沸湯について」川島真人『臨床整形外科』40 (3) 278-280
- 「整形外科と蘭学 (13) リーナデ号の到着から前野良沢まで 蘭学の曙と良沢の生き方」川島真人『臨床整形外科』40 (5) 558-562
- 「整形外科と蘭学 澤野忠庵と南蛮医術」川島真人『臨床整形外科』40 (9) 1020-1021
- 「整形外科と蘭学 榎林鎮山とパピ」川島真人『臨床整形外科』40 (12) 1322-1324
- 「整形外科と蘭学 大江医家と栗崎流免許」川島真人、カトリーナ・シバタ『臨床整形外科』40 (7) 786-789

「小石家歴代医師と大坂の蘭学との関連について (抄)」小石

秀夫『医譚』(99) 53-55

「大坂蘭学史における橋本宗吉の役割 (抄)」古西義磨『医譚』(99) 55-56

「大坂の蘭学の発祥と特徴 (抄)」芝哲夫『医譚』(99) 57-58

59 リハビリテーション関係史

「精神科作業療法職の専門分化過程の考察 (二) —昭和四〇年の法制定と旧従事者への影響 (抄)」柳田純子『日本医学雑誌』51 (2) 288-289

「【脳卒中の理学療法を再考する】脳卒中に対する理学療法の歴史的変遷」吉尾雅春『理学療法ジャーナル』39 (8) 669-673

「アメリカのリハビリテーション医学の歴史 (1) - (3)」吉田

清和『Journal of Clinical Rehabilitation』14 (4, 6-7) 356-359, 550-553, 644-647

60 検査

「ポツペ・フアン・マールデルフネルトの教えた近代臨床検査学 (抄)」相川忠臣、酒井シヅ『日本医学雑誌』51 (2) 206-207

「細菌グラム染色の本邦における初期の紹介について (抄)」会田恵『日本医学雑誌』51 (2) 234-235

「医学検査のあゆみ—5 モノクローナル抗体を使った悪性疾患診断に関して」東克巳『モダソムデアア』51 (9) 229-235
 「HLA検査の歴史と意義 (抄)」太田正穂『信州医学雑誌』

53 (6) 440-442

「医学検査のあゆみ—4 高胎者の臨床検査基準値」岡部純明『モダソムデアア』51 (8) 195-203

「医学検査のあゆみ—2 Paul-Bunnell反応」木村宏『モダソムデアア』51 (6) 138-140

「HbA1Cの発見の歴史 (抄)」佐分利保雄『神奈川医学会雑誌』32 (1) 91-92

「血圧測定 of 歴史 (抄)」枋久保修『神奈川医学会雑誌』32 (2) 262-263

「医学検査のあゆみ—6 臨床検査標準化の国内外の状況と将来の展望—臨床検査標準化基本検討委員会の紹介—」濱崎直孝『モダソムデアア』51 (12) 338-340

「医学検査のあゆみ—1 急性中枢神経疾患と病原ウイルス診断」細矢光亮『モダソムデアア』51 (5) 112-115

「医学検査のあゆみ—3 狂犬病について」源宣之『モダソムデアア』51 (7) 160-166

61 その他

「日本最古のマラソン競争 安政の遠足 (抄)」清水英一『日本医学雑誌』51 (2) 204-205

「長崎奉行書判決記録に見る江戸時代の酒乱と酒狂」田中輝好『アデアクシヨソと家族』21 (4) 378-384

62 中国語文献

「開拓我国医学史研究の新視野」朱建平『中華医学雑誌』35 (1) 3-5

「蘇州国医医院探索之路研究」曹麗娟『中華医学雑誌』35 (1) 6-10

「20世紀下半葉北京中医医療機構發展史略」張志斌・余永燕『中華医学雑誌』35 (1) 11-16

「台湾医務行政管理体制及其發展簡史」劉麗偉『中華医学雑誌』35 (1) 17-21

「中医陰陽学說の実験研究回顧」王振瑞『中華医学雑誌』35 (1) 22-24

「中医対出血中風認識的進歩」鄭國慶・黃培新『中華医学雑誌』35 (1) 25-28

「一部医人自医的著作『疝岐救正論』」羅根海『中華医学雑誌』35 (1) 29-31

「第二次世界大戦対米国高等医学教育的影響」張艶榮『中華医学雑誌』35 (1) 32-36

「20世紀下半葉中国医学發展史分期問題探討」李志平『中華医学雑誌』35 (1) 37-40

「中藏医脈学関係雜議」甄艶『中華医学雑誌』35 (1) 41-44

- 「宋版『備急總効方』的文獻研究」小曾戸洋『中華醫史雜誌』35 (3) 132-137
- 「日本江戸時代漢方舌診專著的研究」梁嶸『中華醫史雜誌』35 (3) 138-144
- 「宋版『傷寒論』版本考辨」錢超塵『中華醫史雜誌』35 (3) 145-148
- 「北宋社会因素对『傷寒論』研究的影響」倪世美『中華醫史雜誌』35 (3) 149-151
- 「試論宋儒治学方法对宋士大夫編撰医書的影響」李玉清『中華醫史雜誌』35 (3) 152-154
- 「『眼科闡微』对老年眼病辨治的学術貢獻」黎小妮『中華醫史雜誌』35 (3) 155-157
- 「『吕氏春秋』中的先秦養生觀」茅晔『中華醫史雜誌』35 (3) 158-160
- 「金元時期食療養生方剂特色」谷勝東『中華醫史雜誌』35 (3) 161-164
- 「從『競花緣』看李汝珍的医藥養生觀」陳貽庭『中華醫史雜誌』35 (3) 165-169
- 「從『医詩』看明季文人对医德医術的評師」魏露苓『中華醫史雜誌』35 (3) 170-175
- 「『黄帝內經』中『百姓』含義考」李書田『中華醫史雜誌』35 (3) 176-178
- 「論我国第一部眼科手術著作『秘伝眼科龍木論』」張鳳梅·高健生等『中華醫史雜誌』35 (3) 179-182
- 「阿維森納『医典』中脈診中与中医脈診關係的澄清」洪梅·陳家旭『中華醫史雜誌』35 (3) 183-186
- 「近代福建基督教教会医院西医学教育之初探」周典恩·郭志超『中華醫史雜誌』35 (3) 187-190
- 「說『中西疾病名对照大辞典』」李經緯『中華醫史雜誌』35 (3) 191-192
- 「古代『瘟』『疫』『瘴』未必都是爆發流行的伝染病」顧文『中華醫史雜誌』35 (3) 148
- 「鼻内窺鏡手術的發展簡史」牛善利『中華醫史雜誌』35 (3) 169
- 「『奉送于丹藥的唐代六帝』邱玢『中華醫史雜誌』35 (3) 178
- 「華佗教育思想」魏嘉濤·魏以倫『中華醫史雜誌』35 (3) 190
- 「世界第一部解剖学專著及其作者」郝清華『中華醫史雜誌』35 (3) 137
- 「章次公淡泊名利」張雲鵬·陳理書『中華醫史雜誌』35 (3) 144
- 「婦產科学之父」張艷娥『中華醫史雜誌』35 (3) 157
- 「18世紀西医学对疾病的認識」甄橙『中華醫史雜誌』35 (4) 195-197
- 「科学制度影響下的唐代医学人才選拔」王振国·臧守虎『中華醫史雜誌』35 (4) 198-201
- 「幾種道教丹藥在唐代中医臨床的応用」邱玢『中華醫史雜誌』

- 35 (4) 202-205
- 「單樞考略」袁冰·Sonya Prizker等『中華醫史雜誌』35 (4) 206-208
- 「玄府理論的建立與發展」鄭國慶·王鸞等『中華醫史雜誌』35 (4) 209-213
- 「古代文化因素對針灸選穴的影響」黃濤『中華醫史雜誌』35 (4) 214-219
- 「民國期間爭取中醫教育合法化運動始末」郝允中『中華醫史雜誌』35 (4) 220-224
- 「短暫性腦缺血發作 (TIA) 定義的演變」李海峰·魏岡之『中華醫史雜誌』35 (4) 225-229
- 「頭痛疾病的分類史」李文偉·蔡定芳『中華醫史雜誌』35 (4) 230-234
- 「紅十字會的由來及其在中國的歷史」李汝蘭·王正運等『中華醫史雜誌』35 (4) 235-237
- 「從三七興起看影響中藥傳播的因素」翟淑婷『中華醫史雜誌』35 (4) 238-240
- 「20世紀40年代閩北鼠疫流行史料」楊家茂『中華醫史雜誌』35 (4) 241-244
- 「簡述西方公共健康史」李化成『中華醫史雜誌』35 (4) 245-249
- 「『肘後備急方』中的傳染病認識」姜不政·張志斌『中華醫史雜誌』35 (4) 224
- 「心臟負荷試驗的發展年表」馬遠燦·史孝培等『中華醫史雜誌』35 (4) 253
- 「青霉素的發明與歷史功勳」鄭新元『中華醫史雜誌』35 (4) 237
- 「科學家最早發現的不用紡織的細菌布」許仄平『中華醫史雜誌』35 (4) 252
- 「評英文版『中國藏醫藥學』」Jurgen C. Aschoff『中華醫史雜誌』35 (4) 250
- 「我國最早的白內障術前視功能檢查法」高健生·張麗霞等『中華醫史雜誌』35 (4) 253
- 64 歐文文獻**
- BATES, Alan W.: Good, Common, Regular and Orderly: Early Modern Classifications of Monstrous Births. *So. Hist. Med.*: 18 (2) 141-158
- BEALE, N./BEALE, E.: Evidence-Based Medicine in the Eighteenth Century: The Ingen Housz-Jenner Correspondence Revisited. *Medical History*: 49 (1) 79-98
- BEEMER, J.K./ANDERTON, D.L./LEONARD, S.H.: Sewers in the City: A Case Study of Individual-Level Mortality and Public Health Initiatives in Northampton, Massachusetts, at the Turn of the Century. *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 60 (1) 42-72
- BERGMANN, Von Axel: Cotyia quid? Zur Vorgeschichte des

- spatritrelalterlichen Medizinalthohmasses: Sudhoffs Archiv: 89 (2) 211-225
- BITTEL, Carla: Science, Suffrage, and Experimentation: Mary Putnam Jacobi and the Controversy over Vivisection in Late Nineteenth-Century America. *Bull. Hist. Med.*: 79 (4) 664-694
- BRAUN, Lundy: Spirometry, Measurement, and Race in the Nineteenth Century. *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 60 (2) 135-169
- BREGMAN, Alvan: Alligation Alternate and the Composition of Medicines: Arithmetic and Medicine in Early Modern England. *Medical History*: 49 (3) 299-320
- BRUNTON, Deborah: Evil Necessaries and Abominable Erections: Public Conveniences and Private Interests in the Scottish City, 1830-1870. *So. Hist. Med.*: 18 (2) 187-202
- BRYDER, Linda: Breastfeeding and Health Professionals in Britain, New Zealand and the United States, 1900-1970: *Medical History*: 49 (2) 179-196
- BUFTON, M.W./MELLING, J.: Coming Up for Air: Experts, Employers, and Workers in Campaigns to Compensate Silicosis Sufferers in Britain, 1918-1939. *So. Hist. Med.*: 18 (1) 63-86
- BUFTON, M.W./MELLING, J.: "A Mere Matter of Rock": Organized Labour, Scientific Evidence and British Government Schemes for Compensation of Silicosis and Pneumoconiosis among Coalminers, 1926-1940. *Medical History*: 49 (2) 155-178
- BURNHAM, John: Where is Medical History Headed?: *Vesalius*: 11 (1) 2-4
- BURNHAM, John C.: Unraveling the Mystery of Why There Was No Childhood Lead Poisoning. *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 60 (4) 445-477
- BURRELL, S./GILL, G.: The Liverpool Cholera Epidemic of 1832 and Anatomical Dissection-Medical Mistrust and Civil Unrest. *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 60 (4) 478-498
- CAMPBELL, Margaret: What Tuberculosis did for Modernism: The Influence of a Curative Environment on Modernist Design and Architecture. *Medical History*: 49 (4) 463-488
- CANTOR, David: Between Galen, Geddes, and Gael: Arthur Brock, Modernity, and Medical Humanism in Early-Twentieth-Century Scotland. *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 60 (1) 1-41
- CHURCH, Roy: The British Market for Medicine in the Late Nineteenth Century: The Innovative Impact of S M Burroughs & Co. *Medical History*: 49 (3) 281-298
- CHURCHILL, Wendy D.: The Medical Practice of the Sexed Body: Women, Men, and Disease in Britain, circa 1600-1740. *So. Hist. Med.*: 18 (1) 3-22
- CHURCHILL, Wendy D.: Bodily Differences?: Gender, Race, and

- Class in Hans Sloane's Jamaican Medical Practice, 1687-1688: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 60 (4) 391-444
- CURTH, Louise Hill: The Medical Content of English Almanacs 1640-1700: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 60 (3) 255-282
- CURTIS, Stephan: Midwives and their Role in the Reduction of Direct Obstetric Deaths during the late Nineteenth Century: The Sundsvall Region of Sweden (1860-1890): *Medical History*: 49 (3) 321-350
- DARBY, Robert: Pathologizing Male Sexuality: Lallemand, Spermatorrhea, and the Rise of Circumcision: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 60 (3) 283-319
- DAVIS, G./DAVIDSON, R.: 'Bic White Chief', 'Pontius Plate', and the 'Plumber': The Impact of the 1967 Abortion Act on the Scottish Medical Community, c.1967-1980: *So. Hist. Med.*: 18 (2) 283-306
- DE ASUA, Miguel: Henry Sigerist and the History of Medicine in Latin America: His Correspondence with Juan R. Beltran: *Bull. Hist. Med.*: 79 (1) 111-117
- DIBATTISTA, Liborio: L'Institut Marey: naissance et destin d'un *reve scientifique*: *Vesalius*: 11 (1) 4-10
- DIBGY, Anne: Self-Medication and the Trade in Medicine within a Multi-Ethnic Context: A Case Study of South Africa from the Mid-Nineteenth to Mid-Twentieth Centuries: *So. Hist. Med.*: 18 (3) 439-457
- EIJNATTEN, Joris V.: Bilderdijk's Head Meta-medical Reflections of an Afflicted Poet: *So. Hist. Med.*: 18 (3) 337-356
- GABRIEL, Joseph M.: Mass-Producing the Individual: Mary C. Jarett, Elmer E. Southard, and the Industrial Origins of Psychiatric Social Work: *Bull. Hist. Med.*: 79 (3) 430-458
- GELBIER, Stanley: Dentistry and the University of London: *Medical History*: 49 (4) 445-462
- GILLIS, Jonathan: Taking a Medical History in Childhood Illness: Representations of Parents in Pediatric Texts since 1850: *Bull. Hist. Med.*: 79 (3) 393-429
- GREENE, Jeremy A.: Releasing the Flood Waters: Diurni and the Reshaping of Hypertension: *Bull. Hist. Med.*: 79 (4) 749-794
- HALLETT, Christine: The Attempt to Understand Puerperal Fever in the Eighteenth and Early Nineteenth Centuries: The Influence of Inflammation Theory: *Medical History*: 49 (1) 1-28
- HAMLIN, Christopher: Sanitary Policing and the Local State, 1873-1874: A Statistical Study of English and Welsh Towns: *So. Hist. Med.*: 18 (1) 39-61
- HAMPSHIRE, James: The Politics of School Sex Education Policy in England and Wales from the 1940s to the 1960s: *So. Hist. Med.*: 18 (1) 87-105

- HAYNES, Douglas M.: Policing the Social Boundaries of the American Medical Association, 1847-70: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 60 (2) 170-195
- HODGES, Sarah: 'Looting' the Lock Hospital in Colonial Madras during the Famine Years of the 1870s: *So. Hist. Med.*: 18 (3) 379-398
- HURREN, Elizaeth T.: Poor Law versus Public Health: Diphtheria, Sanitary Reform, and the 'Crusade' against Outdoor Relief, 1870-1900: *So. Hist. Med.*: 18 (3) 399-418
- JASEN, Patricia: Breast Cancer and the Politics of Abortion in the United States: *Medical History*: 49 (4) 423-444
- JENSEN, Niklas Thode: The Medical Skills of the Malabar Doctors in Tranquebar, India, as Recorded by Surgeon T L F Folly, 1798: *Medical History*: 49 (4) 489-515
- JONES, E./WESSELY, S.: War Syndromes: The Impact of Culture on Medically Unexplained Symptoms: *Medical History*: 49 (1) 55-78
- KELLER, Richard C.: Pintel in the Maghreb: Liberation, Confinement, and Psychiatric Reform in French North Africa: *Bull. Hist. Med.*: 79 (3) 459-499
- KING, Steven: "Stop This Overwhelming Torment of Destiny": Negotiating Financial Aid at Times of Sickness under the English Old Poor Law, 1800-1840: *Bull. Hist. Med.*: 79 (2) 228-260
- KISACKY, Jeanne: Restructuring Isolation: Hospital Architecture, Medicine, and Disease Prevention: *Bull. Hist. Med.*: 79 (1) 1-49
- KLINE, Wendy: "Please Include This in Your Book": Readers Respond to Our Bodies, Ourselves: *Bull. Hist. Med.*: 79 (1) 81-110
- KLJAKOVIC, M./NOLAN, M.: A Professional Myth: Personal Continuity of Care and New Zealand General Practice in the Twentieth Century: *So. Hist. Med.*: 18 (2) 265-282
- LANG, Sean: Drop the Demon Dai: Maternal Mortality and the State in Colonial Madras, 1840-1875: *So. Hist. Med.*: 18 (3) 357-378
- LANZONI, Susan: The Asylum in Context: An Essay Review: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 60 (4) 499-505
- LINKER, Beth: The Business of Ethics: Gender, Medicine, and the Professional Codification of the American Physiotherapy Association, 1918-1935: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 60 (3) 320-354
- LITSIOS, Socrates: Selskar Gunn and China: The Rockefeller Foundation's "Other" Approach to Public Health: *Bull. Hist. Med.*: 79 (2) 295-318
- LO, V./BARRETT, P.: Cooking up Fine Remedies: On the Culinary Aesthetic in a Sixteenth-Century Chinese Materia Medi-

- ca: *Medical History*: 49 (4) 395–422
- LOEB, Lori: Beating the Flu: Orthodox and Commercial Responses to Influenza in Britain, 1889–1919. *So. Hist. Med.*: 18 (2) 203–224
- LOUGHLIN, Kelly: Spectacle and Secrecy: Press Coverage of Conjoined Twins in 1950s Britain. *Medical History*: 49 (2) 197–212
- MAGLEN, Krista: A World Apart: Geography, Australian Quarantine, and the Mother Country. *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 60 (2) 196–217
- MARTIN, Morag: Doctoring Beauty: The Medical Control of Women's Toiletries in France, 1750–1820. *Medical History*: 49 (3) 351–368
- MARTINEZVIDAL, A/PARDO-TOMAS, J.: Anatomical Theatres and the Teaching of Anatomy in Early Modern Spain. *Medical History*: 49 (3) 251–280
- MCKAY, Alex: “The Birth of a Clinic”? The IMS Dispensary in Gyantse (Tibet), 1904–1910. *Medical History*: 49 (2) 135–154
- OLRY, Regis: Le chirurgien dentiste Fiacre-Joseph de Goy, un *ci-devant* pretre miracule des massacres de Septembre 1792: *Vesalius*: 11 (1) 11–14
- OTTOVIANI, R./VANNI, D./BACCOLO, M.G./GUERIN, E./VANNI, P.: Rewriting the biography of Henry Dunant, the founder of the International Red Cross. *Vesalius*: 11 (1) 21–25
- OVERWIEN, Von Oliver: Einige Beobachtungen zur Uebersetzung der Hippokratesschriften in der arabischen und griechischen Tradition. *Sudhoffs Archiv*: 89 (2) 196–210
- PADIAK, Janet: The Role of Morbidity in the Mortality Decline of the Nineteenth Century: Evidence from the Military Population at Gibraltar 1818–1899. *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 60 (1) 73–95
- PORMANN, Peter E.: The Physician and the Other: Images of the Charlatan in Medieval Islam. *Bull. Hist. Med.*: 79 (2) 189–227
- POWELL, Martin: Coasts and Coalfields: The Geographical Distribution of Doctors in England and Wales in the 1930s. *So. Hist. Med.*: 18 (2) 245–263
- RASMUSSEN, Nicolas: The Drug Industry and Clinical Research in Interwar America: Three Types of Physician Collaborator. *Bull. Hist. Med.*: 79 (1) 50–80
- REID, Alice: The Effects of the 1918–1919 Influenza Pandemic on Infant and Child Health in Derbyshire. *Medical History*: 49 (1) 29–54
- REINARZ, Jonathan: The Age of Museum Medicine: The Rise and Fall of the Medical Museum at Birmingham's School of Medicine. *So. Hist. Med.*: 18 (3) 419–437

- RAUD, Xavier: Le service dentaire de l'armee allemande pendant la Seconde Guerre Mondiale: Vesalius: 11 (1) 38-47
- RISSE, Guenter B.: Glimpses of a Hidden Burden: Hydatid Disease in Eighteenth-Century Scotland: Bull. Hist. Med.: 79 (3) 534-543
- SCHMIDT, Von Gabriela: Rokitsansky als Patho-Philosoph: Sudhoffs Archiv: 89 (2) 170-195
- SCHUSTER, David G.: Personalizing Illness and Modernity: S. Wei Mitchell, Literary Women, and Neurasthenia, 1870-1914: Bull. Hist. Med.: 79 (4) 695-722
- SLATER, Leo B.: Malarial Birds: Modeling Infectious Human Disease in Animals: Bull. Hist. Med.: 79 (2) 261-294
- STEJEL, Frances: A Source of Our Wealth, Yet Adverse to Our Health? Butter and the Diet-Heart Link in New Zealand to c. 1990: So. Hist. Med.: 18 (3) 475-493
- STEGGER, Florian: Kinder als Patienten der Heil- und Pflegeanstalt Kaufbeuren-Irsee. Die "Kinderfachabteilung" in den Jahren 1941-1945: Sudhoffs Archiv: 89 (2) 129-150
- TOMES, Nancy: The Great American Medicine Show Revisited: Bull. Hist. Med.: 79 (4) 627-663
- TUCHMAN, Arleen Marcia: 'The True Assistant to the Obstetrician': State Regulation and the Legal Protection of Midwives in Nineteenth-Century Prussia: So. Hist. Med.: 18 (1) 23-38
- VERGARA, Angela: The Recognition of Silicosis: Labor Unions and Physicians in the Chilean Copper Industry, 1930s-1960s: Bull. Hist. Med.: 79 (4) 723-748
- VINCENT, L.M.: The Anatomist by Thomas Rowlandson (1756-1827): The Play's the Thing: Medical History: 49 (2) 213-218
- WALLES, Diane: Equally Safe for Both Sexes: a Gender Analysis of Medical Advertisements in English Newspapers, 1690-1750: Vesalius: 11 (1) 26-32
- WAMMRRIGHT, Milton: A Response to William Kingston, "Streptomycin, Schatz versus Waksman, and the Balance of Credit for Discovery": J. Hist. Med. Allied Sci.: 60 (2) 218-220
- WATSON, N./WOODS, B.: The Origins and Early Developments of Special/Adaptive Wheelchair Seating: So. Hist. Med.: 18 (3) 459-474
- WILDE, Sally: The English Patient in Post-colonial Perspective, or Practising Surgery on the Poms: So. Hist. Med.: 18 (1) 107-121
- WILLIAMS, Samantha: Practitioners' Income and Provision for the Poor: Parish Doctors in the Late Eighteenth and Early Nineteenth Centuries: So. Hist. Med.: 18 (2) 159-186
- WILSON, Duncan: The Early History of Tissue Culture in Britain: The Interwar Years: So. Hist. Med.: 18 (2) 225-243
- WINTER, Alison: The Making of "Truth Serum": Bull. Hist.

Med.: 79 (3) 500-533

YOUNG, John R.: "The Purple Island" of Pinneas Fletcher: Allusions to the Anatomy of the Human Body in English Poetry up to the end of the Seventeenth century: *Vesalius*: 11 (1) 33-37

ZANICHIN, G./CAPITANIO, M./PANETTO, M./VISENTIN, G./WIEL MARIN, V.T.: Bernardino Ramazzini Rests in Padua:

Vesalius: 11 (1) 15-20